

第4章 50歳以上の現役世代調査

第4章 目次

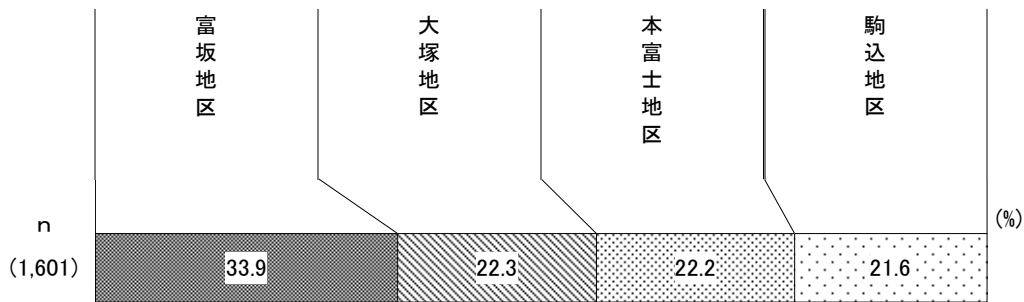
	頁
第4章 50歳以上の現役世代調査	191
1. 回答者の属性	195
圏域	195
性別	195
問1 年齢	195
問2 暮らしの経済的状況	196
2. ご自身、お住まい	197
問3 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）	197
問4 現在の住まいでの在宅生活の継続性	198
問5 住まいについての不便や不安	199
3. 日常生活	201
問6 現在の生活での不安	201
問7 働き方の希望	203
4. 介護等	205
問8 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと	205
問9 介護が必要になった場合の暮らし方の希望	207
問9-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性	208
問9-2 入所したい施設の種類	208
問10 終末期を迎えたい場所	209
問11 介護の実施状況	210
問11-1 複数介護の状況	211
問11-1-1 複数介護の対象	212
問12 今後区に力を入れてほしいこと	214
問13 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	218
5. 地域での活動	219
問14 会・グループ等の参加頻度	219
問15 グループ活動への参加意向（参加者として）	224
問16 グループ活動への参加意向（世話役として）	225
6. たすけあい	227
問17 心配や愚痴を聞いてくれる人	227
問18 心配や愚痴を聞いてあげる人	228
問19 看病してくれる人	229
問20 看病してあげる人	230
7. 健康・介護予防	231
問21 現在の健康状態	231
問22 介護予防の取組状況	231
問22-1 介護予防に取り組んでいない理由	232

問23	介護予防のために今後取り組みたいこと	233
8.	医療	235
問24	病気の状況	235
問25	かかりつけ医・歯科医・薬局の有無	236
問26	新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段	238
問27	新型コロナウイルス感染症による生活の変化	239
問28	新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）	240
9.	認知症	241
問29	認知症症状がある人の有無	241
問30	認知症に対して認識している内容	241
問31	認知症相談窓口の認知度	243
問32	認知症相談窓口の利用意向	243
問33	認知症に関する区の事業の認知度	245
問34	認知症に関する情報取得方法	247

1. 回答者の属性

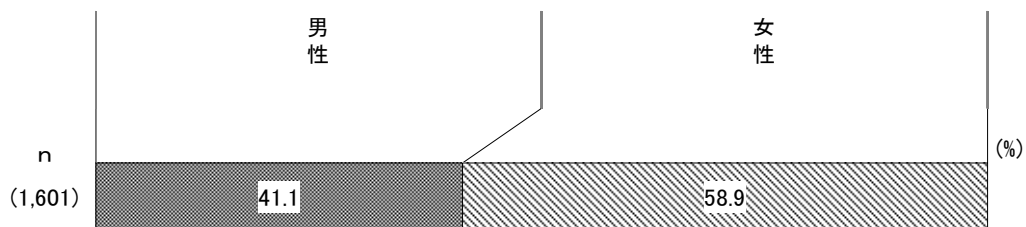
圏域

圏域では、「富坂地区」が33.9%で最も高く、以下、「大塚地区」が22.3%、「本富士地区」が22.2%、「駒込地区」が21.6%となっています。



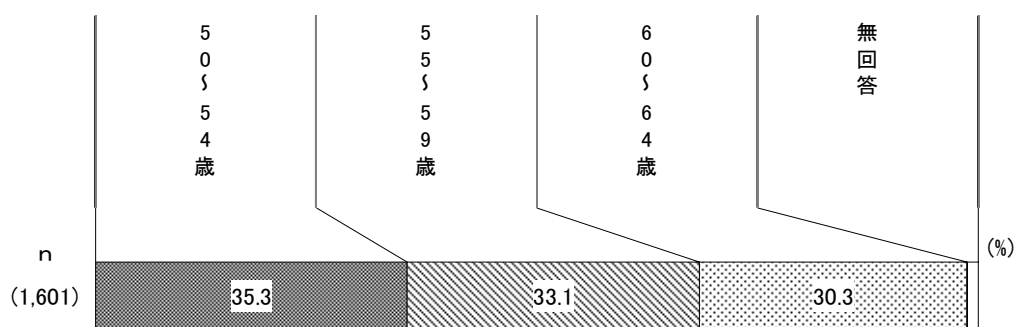
性別

性別では、「女性」が58.9%、「男性」が41.1%となっています。



問1 年齢

年齢（3区分）では、「50～54歳」が35.3%で最も高く、以下、「55～59歳」が33.1%、「60～64歳」が30.3%となっています。



第4章 50歳以上の現役世代調査

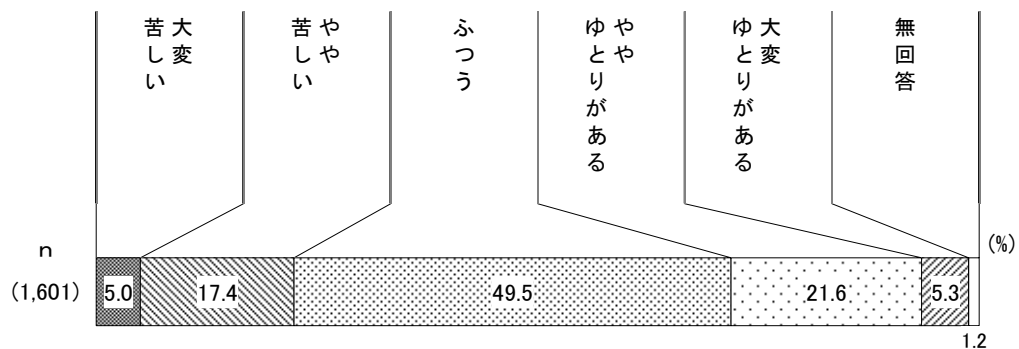
性別及び圏域別では、特に目立った違いはありません。

【年齢／性別、圏域別】

		n	(%)			
			50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
全体		1,601	35.3	33.1	30.3	1.3
性別	男性	658	33.7	32.7	32.2	1.4
	女性	943	36.4	33.4	29.0	1.3
圏域別	富坂地区	543	34.6	35.0	29.3	1.1
	大塚地区	357	34.7	32.5	31.9	0.8
	本富士地区	355	35.8	34.1	28.2	2.0
	駒込地区	346	36.4	29.8	32.4	1.4

問2 暮らしの経済的状況

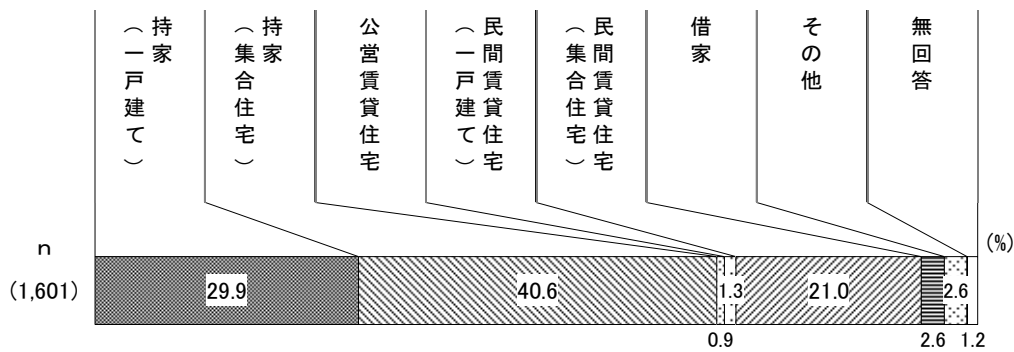
暮らしの状況では、「ふつう」が49.5%で最も高く、以下、「ややゆとりがある」が21.6%、「やや苦しい」が17.4%、「大変ゆとりがある」が5.3%となっています。



2. ご自身、お住まい

問3 住居形態（一戸建てまたは集合住宅）

住居形態では、「持家（集合住宅）」が40.6%で最も高く、以下、「持家（一戸建て）」が29.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が21.0%、となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「持家（一戸建て）」は、高年齢層ほど、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は、低年齢層ほど高くなっています。

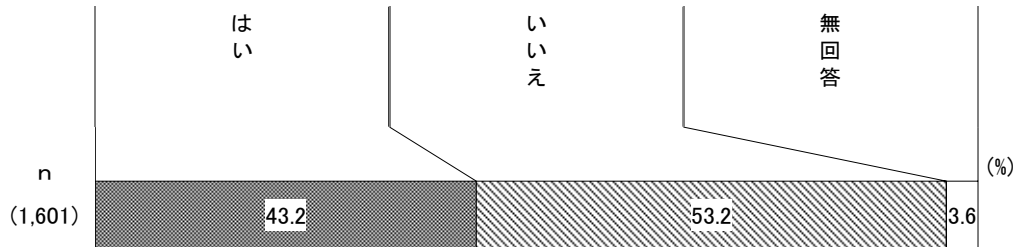
圏域別でみると、駒込地区では、他地域と異なり、「持家（一戸建て）」が37.9%で、「持家（集合住宅）」の32.1%よりも高くなっています。

【住居形態／性別、年齢別、圏域別】

		n	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	無回答
全体		1,601	29.9	40.6	0.9	1.3	21.0	2.6	2.6	1.2
性別	男性	658	30.9	39.4	0.9	0.9	21.0	2.3	3.8	0.9
	女性	943	29.3	41.5	0.8	1.6	21.0	2.8	1.7	1.4
年齢別	50～54歳	565	26.5	41.8	1.1	1.8	22.5	3.9	1.9	0.5
	55～59歳	530	30.4	40.2	0.8	1.1	21.7	2.1	3.2	0.6
	60～64歳	485	34.6	40.6	0.8	1.0	18.4	1.4	2.7	0.4
圏域別	富坂地区	543	27.6	44.9	0.9	2.0	19.3	2.8	1.3	1.1
	大塚地区	357	32.5	37.5	0.6	0.3	22.7	2.8	2.8	0.8
	本富士地区	355	23.1	45.4	0.8	0.8	21.7	2.5	3.9	1.7
	駒込地区	346	37.9	32.1	1.2	1.7	21.1	2.0	2.9	1.2

問4 現在の住まいでの在宅生活の継続性

今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいかでは、「いいえ」が53.2%、「はい」が43.2%となっています。



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。
 圏域別でみると、大塚地区で「はい」が38.4%とやや低くなっています。
 住居形態別でみると、「はい」が高いのは、持家（集合住宅）と公営賃貸住宅のみで、他の形態は、いずれも「いいえ」が高くなっています。
 健康感別でみると、「はい」が高いのは、とても良い層のみで、他の層は、いずれも「いいえ」が高くなっています。

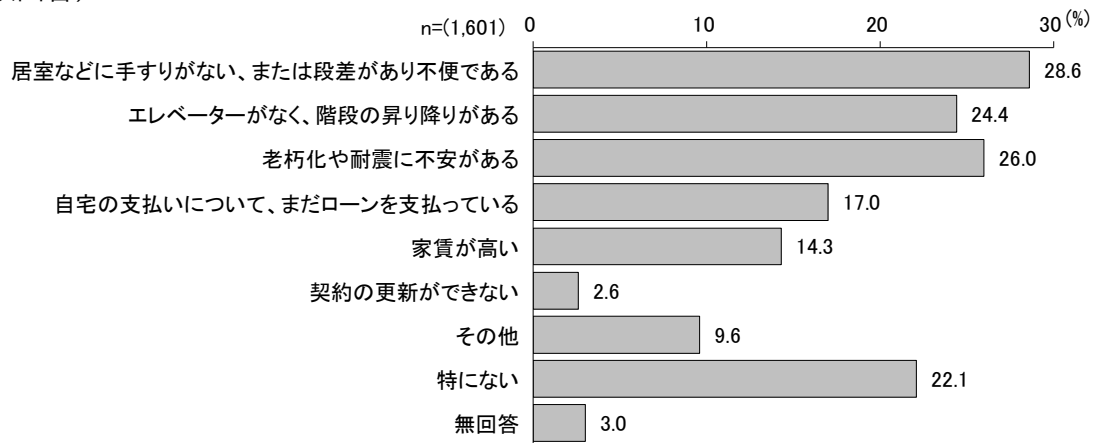
【現在の住まいでの在宅生活の継続性／性別、年齢別、圏域別、住居形態別、健康感別】

		n	（%）		
			はい	いいえ	無回答
全体		1,601	43.2	53.2	3.6
性別	男性	658	44.4	53.2	2.4
	女性	943	42.4	53.1	4.5
年齢別	50～54歳	565	45.3	52.6	2.1
	55～59歳	530	41.3	55.3	3.4
	60～64歳	485	43.7	51.8	4.5
圏域別	富坂地区	543	43.1	52.3	4.6
	大塚地区	357	38.4	57.4	4.2
	本富士地区	355	46.8	51.8	1.4
	駒込地区	346	44.8	51.4	3.8
住居形態別	持家（一戸建て）	479	38.6	58.0	3.3
	持家（集合住宅）	650	63.8	33.4	2.8
	公営賃貸住宅	14	57.1	35.7	7.1
	民間賃貸住宅（一戸建て）	21	9.5	90.5	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	336	18.2	78.3	3.6
	借家	41	14.6	82.9	2.4
	その他	41	22.0	73.2	4.9
健康感別	とても良い	341	50.4	46.6	2.9
	まあ良い	1,063	43.7	53.2	3.1
	あまり良くない	146	29.5	67.8	2.7
	良くない	19	36.8	63.2	-

問5 住まいについての不便や不安

住まいについて不便や不安を感じていることでは、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が28.6%で最も高く、以下、「老朽化や耐震に不安がある」が26.0%、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が24.4%、「自宅の支払いについて、まだローンを支払っている」が17.0%となっています。一方、「特にない」は22.1%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「自宅の支払いについて、まだローンを支払っている」と「家賃が高い」は、低年齢層ほど高くなっています。

住居形態別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」が高いのは、公営賃貸住宅の35.7%、民間賃貸住宅（一戸建て）の33.3%、持家（一戸建て）の33.2%で、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」が高いのは、持家（一戸建て）の51.8%、「老朽化や耐震に不安がある」が高いのは、借家の39.0%となっています。

健康感別でみると、「居室などに手すりがない、または段差があり不便である」、「エレベーターがなく、階段の昇り降りがある」、「家賃が高い」は、いずれも健康感が悪いほど高い傾向にあります。

【住まいについての不便や不安／性別、年齢別、住居形態別、健康感別】

(%)

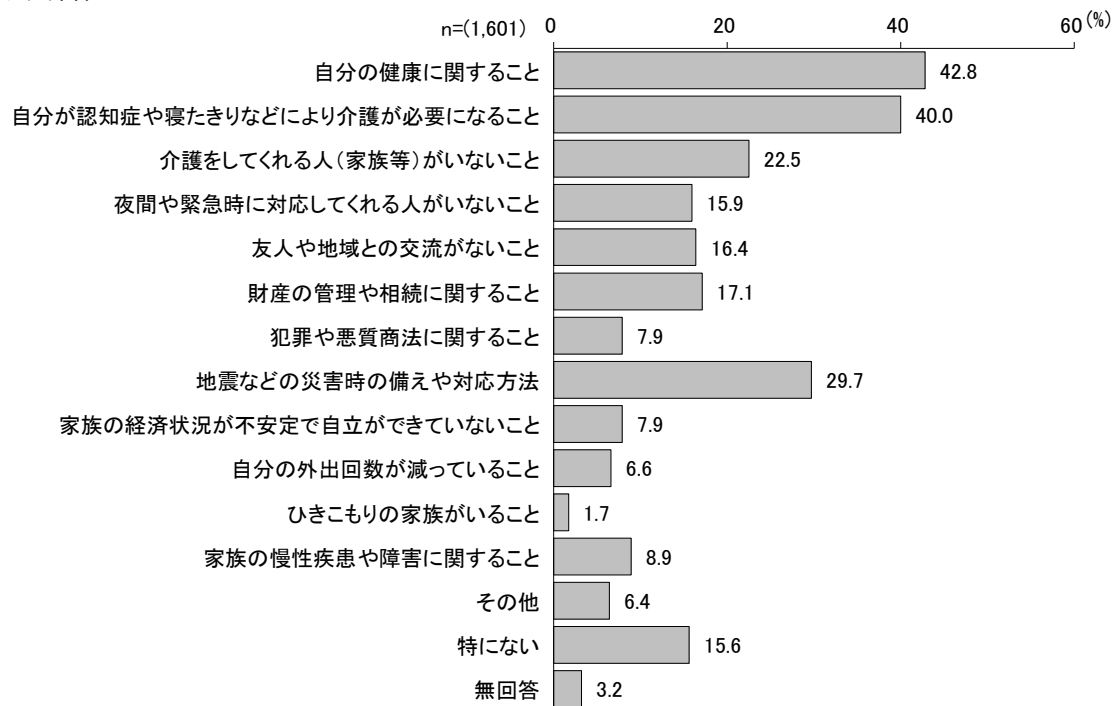
		n	居室などに手すりがない、または段差があり不便である	エレベーターがなく、階段の昇り降りがある	老朽化や耐震に不安がある	自宅の支払いについて、まだローンを支払っている	家賃が高い	契約の更新ができない	その他	特になし	無回答
全体		1,601	28.6	24.4	26.0	17.0	14.3	2.6	9.6	22.1	3.0
性別	男性	658	28.7	24.6	23.1	19.9	14.1	2.9	8.1	23.1	2.9
	女性	943	28.5	24.3	28.0	15.0	14.4	2.3	10.6	21.4	3.1
年齢別	50～54歳	565	25.7	24.1	26.9	22.7	18.1	0.7	9.7	19.6	1.9
	55～59歳	530	31.5	24.9	24.2	17.7	13.2	4.2	10.8	20.2	3.2
	60～64歳	485	29.1	24.5	26.8	10.1	11.1	2.9	8.2	27.4	2.9
住居形態別	持家（一戸建て）	479	33.2	51.8	30.9	22.3	-	-	8.1	15.9	2.3
	持家（集合住宅）	650	27.7	4.8	20.6	24.6	0.3	0.2	11.1	32.8	2.9
	公営賃貸住宅	14	35.7	7.1	28.6	-	35.7	7.1	21.4	7.1	7.1
	民間賃貸住宅（一戸建て）	21	33.3	42.9	33.3	-	38.1	19.0	9.5	14.3	-
	民間賃貸住宅（集合住宅）	336	21.7	20.2	27.1	1.2	58.6	8.9	8.3	12.5	2.4
	借家	41	26.8	36.6	39.0	-	34.1	7.3	12.2	19.5	-
	その他	41	46.3	36.6	31.7	-	4.9	4.9	9.8	17.1	4.9
健康感別	とても良い	341	23.5	20.5	15.5	16.7	13.5	2.1	10.3	33.1	1.8
	まあ良い	1,063	29.4	24.5	27.8	18.2	13.6	2.3	9.4	20.7	2.5
	あまり良くない	146	34.9	31.5	37.7	12.3	19.9	5.5	9.6	10.3	2.7
	良くない	19	57.9	36.8	31.6	-	26.3	10.5	10.5	15.8	-

3. 日常生活

問6 現在の生活での不安

現在の生活で不安に感じていることでは、「自分の健康に関すること」が42.8%で最も高く、以下、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が40.0%、「地震などの災害時の備えや対応方法」が29.7%、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」が22.5%となっています。

（複数回答）



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、女性は男性に比べて、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」、「介護をしてくれる人（家族等）がいないこと」、「夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと」、「犯罪や悪質商法に関すること」、「地震などの災害時の備えや対応方法」が高くなっています。

年齢別でみると、「自分の健康に関すること」や「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」は、高年齢層ほど高くなっています。

健康感別でみると、とても良い層では、「自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること」が30.2%で、他の層では、「自分の健康に関すること」が最も高くなっています。

【現在の生活での不安／性別、年齢別、健康感別】

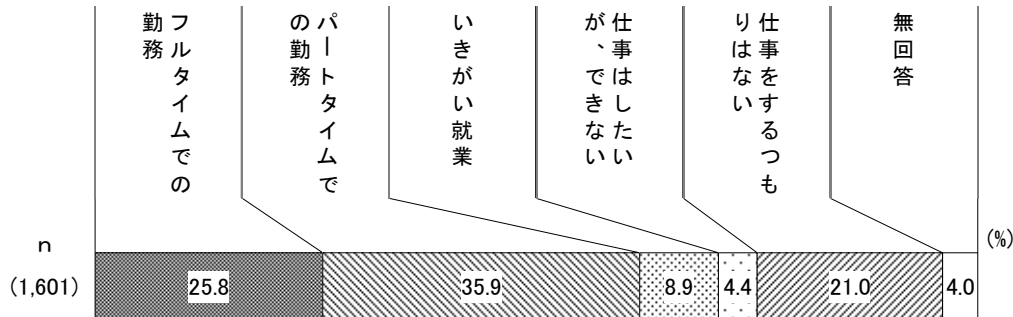
(%)

		n	自分の健康に関すること	自分が認知症や寝たきりなどにより介護が必要になること	介護をしてくれる人(家族等)がいないこと	夜間や緊急時に対応してくれる人がいないこと	友人や地域との交流がないこと	財産の管理や相続に関すること	犯罪や悪質商法に関すること	地震などの災害時の備えや対応方法	家族の経済状況が不安定で自立ができていないこと	自分の外出回数が減っていること
全体		1,601	42.8	40.0	22.5	15.9	16.4	17.1	7.9	29.7	7.9	6.6
性別	男性	658	44.7	36.6	17.8	10.3	16.3	17.3	4.9	25.4	7.3	6.5
	女性	943	41.5	42.3	25.8	19.8	16.4	16.9	10.0	32.7	8.4	6.7
年齢別	50～54歳	565	39.8	33.8	19.6	14.2	18.1	17.0	5.5	28.8	8.0	4.8
	55～59歳	530	43.2	42.5	25.5	17.2	15.1	17.9	9.2	30.8	7.7	7.2
	60～64歳	485	46.0	44.1	22.7	16.9	15.7	16.3	9.3	29.9	8.2	8.2
健康感別	とても良い	341	18.5	30.2	14.7	9.4	10.3	14.4	6.7	22.0	5.3	2.6
	まあ良い	1,063	44.3	41.5	23.0	16.4	17.3	17.1	7.2	31.0	7.3	6.5
	あまり良くない	146	88.4	53.4	37.7	28.1	24.7	22.6	15.8	37.0	16.4	16.4
	良くない	19	78.9	63.2	36.8	26.3	21.1	36.8	10.5	36.8	36.8	15.8

		ひきこもりの家族がいること	家族の慢性疾患や障害に関すること	その他	特にない	無回答
全体		1.7	8.9	6.4	15.6	3.2
性別	男性	1.7	8.4	3.5	17.2	3.0
	女性	1.8	9.3	8.4	14.4	3.3
年齢別	50～54歳	1.4	9.0	8.3	17.9	2.5
	55～59歳	1.7	10.6	6.0	14.0	2.8
	60～64歳	2.3	7.2	4.5	15.1	3.3
健康感別	とても良い	1.5	7.0	6.7	29.0	1.8
	まあ良い	1.9	8.1	6.1	13.6	2.6
	あまり良くない	2.1	17.1	8.2	0.7	2.7
	良くない	-	31.6	5.3	5.3	-

問7 働き方の希望

65歳以降の働き方の希望では、「パートタイムでの勤務」が35.9%で最も高く、以下、「フルタイムでの勤務」が25.8%、「仕事をするつもりはない」が21.0%となっています。



性別で見ると、男性は、「フルタイムでの勤務」が40.0%、女性は、「パートタイムでの勤務」が42.4%と高くなっています。

年齢別で見ると、「パートタイムでの勤務」は、低年齢層ほど、「仕事をしない」は、高年齢層ほど高くなっています。

性/年齢別で見ると、「フルタイムでの勤務」は、男性で、「パートタイムでの勤務」は、女性、特に低年齢層で高くなっています。

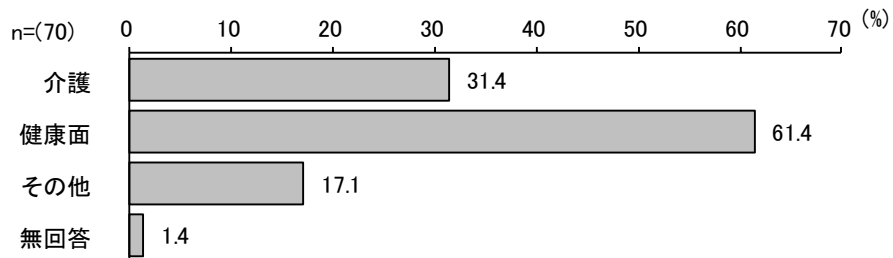
【働き方の希望/性別、年齢別、性/年齢別】

		n	フルタイムでの勤務	パートタイムでの勤務	いきがい就業	仕事はしたいが、できない	仕事をしないつもりはない	無回答
全体		1,601	25.8	35.9	8.9	4.4	21.0	4.0
性別	男性	658	40.0	26.6	8.7	2.9	18.7	3.2
	女性	943	15.9	42.4	9.1	5.4	22.6	4.6
年齢別	50~54歳	565	26.9	40.4	9.2	3.0	17.2	3.4
	55~59歳	530	23.6	36.6	10.4	4.0	21.3	4.2
	60~64歳	485	26.8	30.9	7.2	6.0	25.4	3.7
性/年齢別	男性/50~54歳	222	42.3	27.9	10.4	1.8	15.8	1.8
	男性/55~59歳	215	36.3	28.4	8.4	4.2	19.5	3.3
	男性/60~64歳	212	41.5	24.5	7.5	1.9	20.8	3.8
	女性/50~54歳	343	16.9	48.4	8.5	3.8	18.1	4.4
	女性/55~59歳	315	14.9	42.2	11.7	3.8	22.5	4.8
	女性/60~64歳	273	15.4	35.9	7.0	9.2	28.9	3.7

第4章 50歳以上の現役世代調査

仕事はしたいが、できない理由としては、「健康面」が61.4%、「介護」が31.4%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男女とも「健康面」が高くなっていますが、女性は、「介護」も35.3%と高くなっています。

年齢別で見ると、「介護」は、60～64歳の層で27.6%とやや低い傾向にあります。

【仕事はしたいが、できない理由／性別、年齢別】

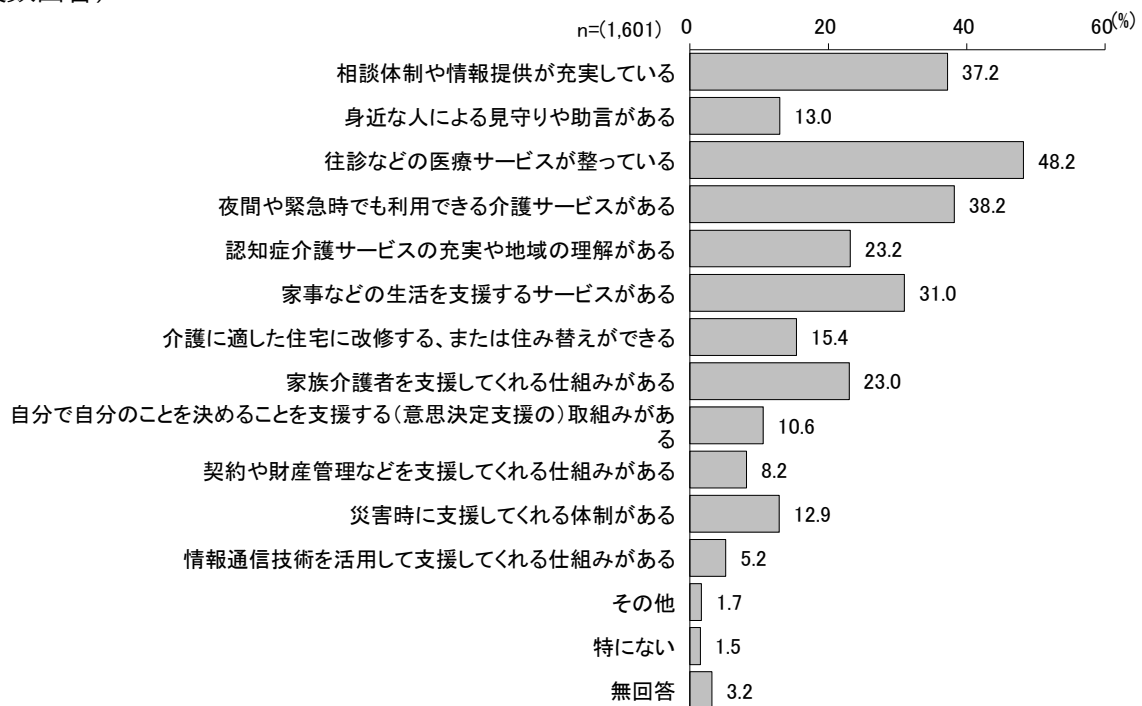
		n	介護	健康面	その他	無回答
全体		70	31.4	61.4	17.1	1.4
性別	男性	19	21.1	73.7	15.8	-
	女性	51	35.3	56.9	17.6	2.0
年齢別	50～54歳	17	35.3	58.8	17.6	-
	55～59歳	21	38.1	71.4	14.3	-
	60～64歳	29	27.6	55.2	20.7	-

4. 介護等

問8 介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと

介護が必要になっても、安心して、住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なことでは、「往診などの医療サービスが整っている」が48.2%で最も高く、以下、「夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある」が38.2%、「相談体制や情報提供が充実している」が37.2%、「家事などの生活を支援するサービスがある」が31.0%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、「災害時に支援してくれる体制がある」で、女性は、男性よりもやや高くなっています。
 年齢別でみると、「家族介護者を支援してくれる仕組みがある」は、低年齢層ほど高い傾向があります。

【介護が必要になっても、地域で暮らし続けるために必要なこと／性別、年齢別】

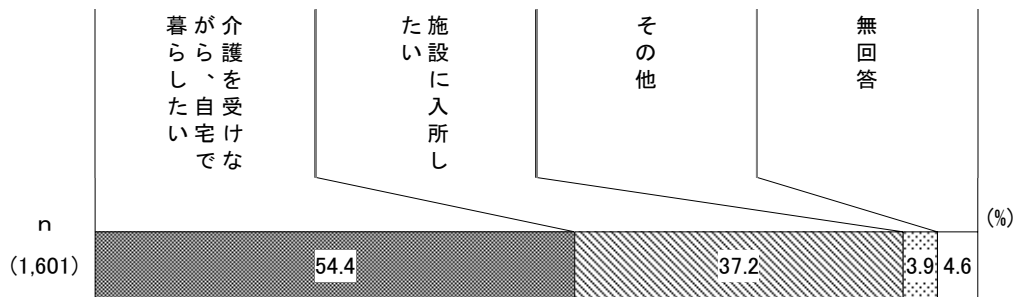
(%)

		n	相談体制や情報提供が充実している	身近な人による見守りや助言がある	往診などの医療サービスが整っている	夜間や緊急時でも利用できる介護サービスがある	認知症介護サービスの充実や地域の理解がある	家事などの生活を支援するサービスがある	介護に適した住宅に改修する、または住み替えができる	家族介護者を支援してくれる仕組みがある	自分で自分のことを決めることを支援する(意思決定支援の)仕組みがある	契約や財産管理などを支援してくれる仕組みがある
全体		1,601	37.2	13.0	48.2	38.2	23.2	31.0	15.4	23.0	10.6	8.2
性別	男性	658	36.8	14.9	48.9	36.0	23.7	31.8	15.0	22.9	9.3	6.8
	女性	943	37.5	11.7	47.7	39.8	22.8	30.4	15.6	23.1	11.6	9.1
年齢別	50～54歳	565	36.5	14.5	46.0	40.4	24.2	31.5	13.5	26.9	11.5	7.6
	55～59歳	530	37.2	10.9	50.2	36.8	24.7	30.9	17.5	22.3	10.9	8.7
	60～64歳	485	37.5	13.2	49.3	38.4	20.2	31.1	15.7	19.6	9.5	8.7

		災害時に支援してくれる体制がある	情報通信技術を活用して支援してくれる仕組みがある	その他	特にない	無回答
全体		12.9	5.2	1.7	1.5	3.2
性別	男性	9.6	6.5	0.9	2.6	3.0
	女性	15.3	4.3	2.3	0.7	3.3
年齢別	50～54歳	12.6	5.7	2.5	1.4	2.1
	55～59歳	11.5	5.3	1.9	1.3	3.4
	60～64歳	15.3	4.7	0.8	1.9	3.3

問9 介護が必要になった場合の暮らし方の希望

介護が必要になった場合に希望する暮らし方では、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」が54.4%で最も高く、以下、「施設に入所したい」が37.2%となっています。



令和元年度調査と比べると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」がやや増加し、「施設に入所したい」はやや減少しています。

性別で見ると、「介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、男性、「施設に入所したい」は、女性が高くなっています。

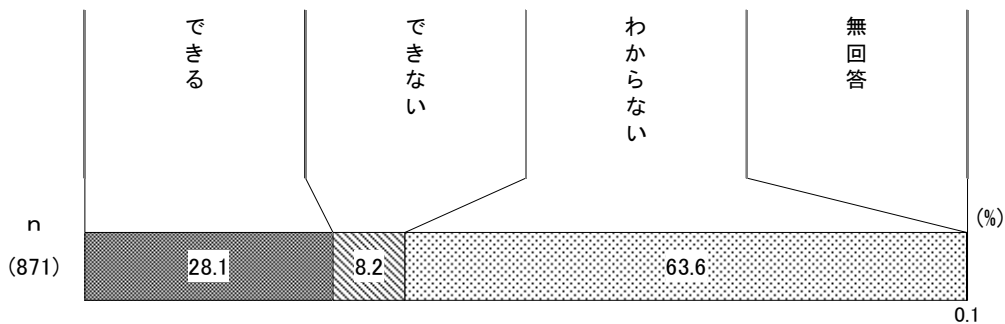
年齢別では、特に目立った違いはありません。

【介護が必要になった場合の暮らし方の希望／性別、年齢別】

		n	(%)			
		n	介護を受けながら、自宅で暮らしたい	施設に入所したい	その他	無回答
全体		1,601	54.4	37.2	3.9	4.6
令和元年度		1,607	48.2	44.1	2.3	5.4
性別	男性	658	59.7	33.1	2.9	4.3
	女性	943	50.7	40.0	4.6	4.8
年齢別	50～54歳	565	53.8	38.1	4.4	3.7
	55～59歳	530	55.8	36.4	3.8	4.0
	60～64歳	485	53.8	37.3	3.5	5.4

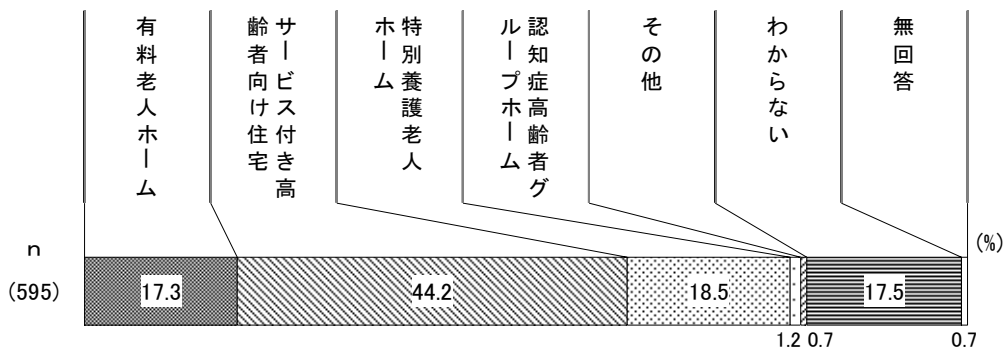
問9-1 介護が必要になった場合の在宅生活の実現性

介護を受けながら、自宅で暮らしたいと回答した方について、在宅生活を実現できると思うかは、「わからない」が63.6%で最も高く、以下、「できる」が28.1%、「できない」が8.2%となっています。



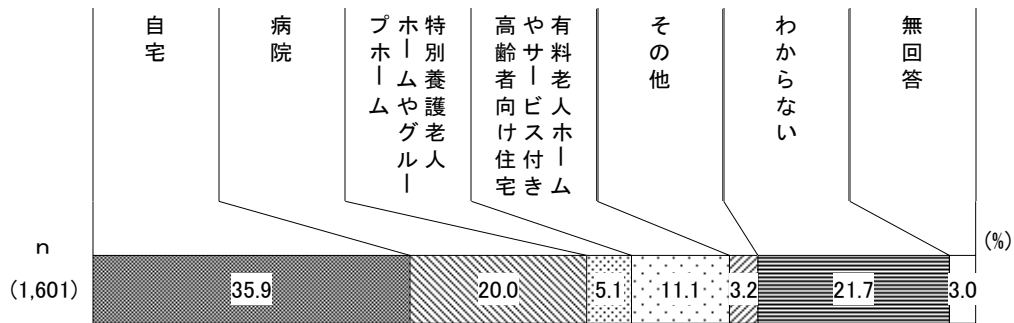
問9-2 入所したい施設の種類

施設に入所したいと回答した方について、入所したい施設は、「サービス付き高齢者向け住宅」が44.2%で最も高く、以下、「特別養護老人ホーム」が18.5%、「有料老人ホーム」が17.3%、「認知症高齢者グループホーム」が1.2%となっています。一方、「わからない」は17.5%となっています。



問10 終末期を迎えたい場所

終末期を迎える場所の希望では、「自宅」が35.9%で最も高く、以下、「病院」が20.0%、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」が11.1%となっています。一方、「わからない」は21.7%となっています。



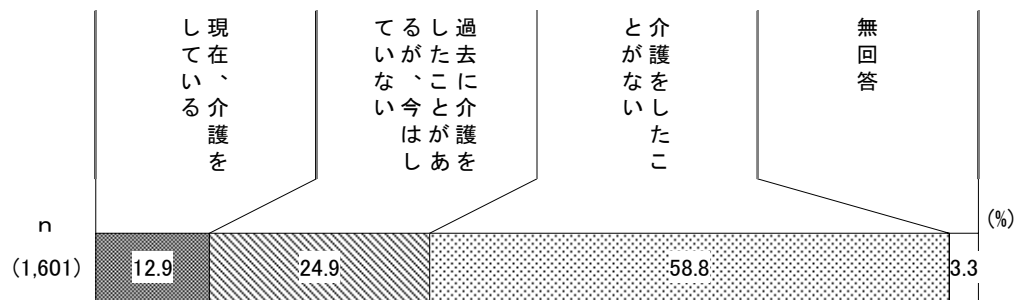
令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。
 性別で見ると、「自宅」は、男性、「有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅」は、女性で高くなっています。「病院」と「特別養護老人ホームやグループホーム」は、ほぼ同率となっています。
 年齢別では、特に目立った違いはありません。

【終末期を迎えたい場所／性別、年齢別】

		n	自宅	病院	特別養護老人ホームやグループホーム	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅	その他	わからない	無回答
全体		1,601	35.9	20.0	5.1	11.1	3.2	21.7	3.0
令和元年度		1,607	38.5	15.9	4.8	10.0	2.9	25.0	3.0
性別	男性	658	42.9	19.9	4.9	7.9	2.3	19.6	2.6
	女性	943	31.0	20.0	5.2	13.4	3.9	23.2	3.3
年齢別	50～54歳	565	36.5	18.8	4.1	11.7	2.5	24.4	2.1
	55～59歳	530	37.5	19.1	5.7	10.8	4.3	20.0	2.6
	60～64歳	485	33.6	22.3	5.8	11.3	3.1	20.4	3.5

問11 介護の実施状況

家族、または身近な方の介護をしているかでは、「介護をしたことがない」が58.8%で最も高く、以下、「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」が24.9%、「現在、介護をしている」が12.9%となっています。



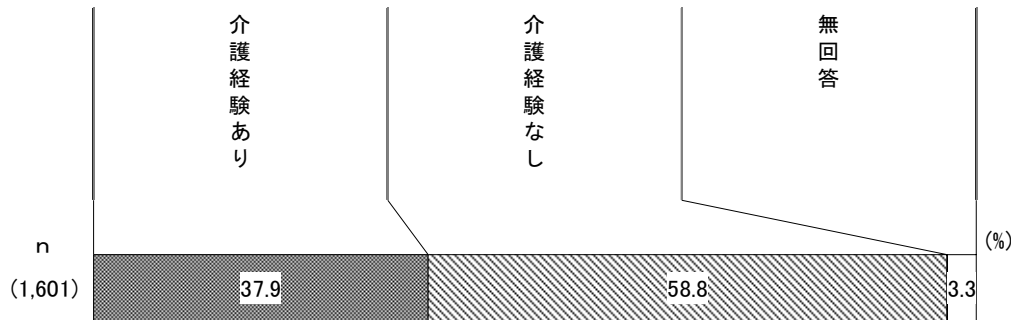
性別で見ると、「現在、介護をしている」や「過去に介護をしたことがあるが、今はしていない」で、女性が男性を上回っています。

年齢別で見ると、「介護をしたことがない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【介護の実施状況／性別、年齢別】

		n	現在、介護をしている	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	介護をしたことがない	無回答
全体		1,601	12.9	24.9	58.8	3.3
性別	男性	658	10.8	18.2	67.3	3.6
	女性	943	14.4	29.6	52.9	3.1
年齢別	50～54歳	565	12.7	15.4	68.8	3.0
	55～59歳	530	14.9	25.8	56.6	2.6
	60～64歳	485	11.1	35.1	50.3	3.5

「介護経験あり」は、全体の37.9%となり、性別で見ると、男性の29.0%に対して、女性は44.0%と高くなっています。
 年齢別で見ると、「介護経験あり」は、高年齢層ほど高くなっています。

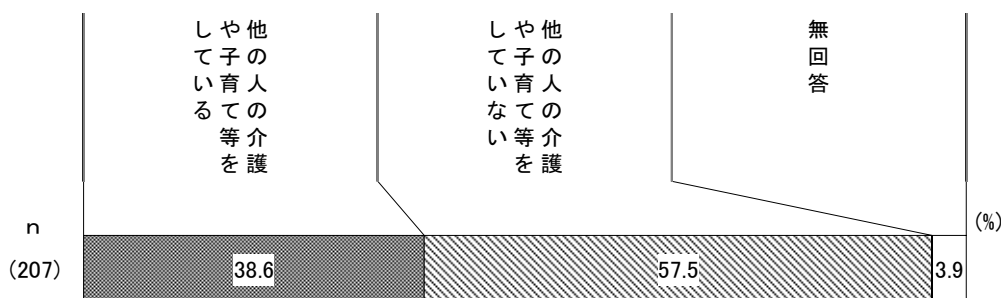


【介護の経験の有無／性別、年齢別】

		n	介護の経験の有無 (%)		
			介護経験あり	介護経験なし	無回答
全体		1,601	37.9	58.8	3.3
性別	男性	658	29.0	67.3	3.6
	女性	943	44.0	52.9	3.1
年齢別	50～54歳	565	28.1	68.8	3.0
	55～59歳	530	40.8	56.6	2.6
	60～64歳	485	46.2	50.3	3.5

問11-1 複数介護の状況

現在、介護をしている人を含めて、複数の方の介護や子育て等をしているかでは、「他の人の介護や子育て等をしていない」が57.5%、「他の人の介護や子育て等をしている」が38.6%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「他の人の介護や子育て等をしている」は、低年齢層ほど高くなっています。

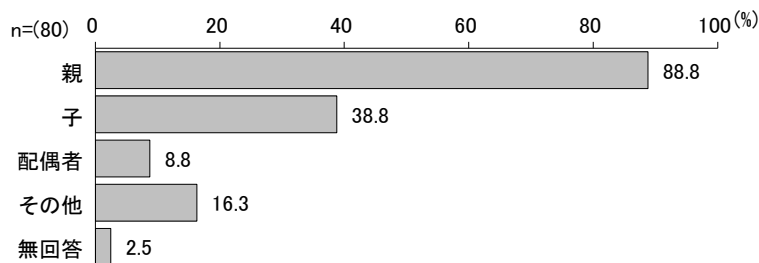
【複数介護の状況／性別、年齢別】

			(%)		
		n	他の人の 介護や子 育て等 をしている	他の人の 介護や子 育て等 をしてい ない	無回答
全 体		207	38.6	57.5	3.9
性別	男性	71	36.6	57.7	5.6
	女性	136	39.7	57.4	2.9
年齢別	50～54歳	72	50.0	47.2	2.8
	55～59歳	79	35.4	62.0	2.5
	60～64歳	54	27.8	64.8	7.4

問11-1-1 複数介護の対象

介護等の対象者の内訳は、「親」が88.8%で最も高く、以下、「子」が38.8%、「配偶者」が8.8%となっています。

(複数回答)



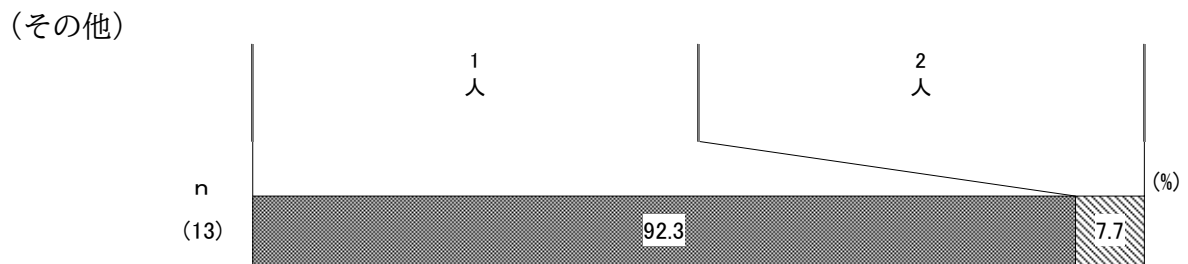
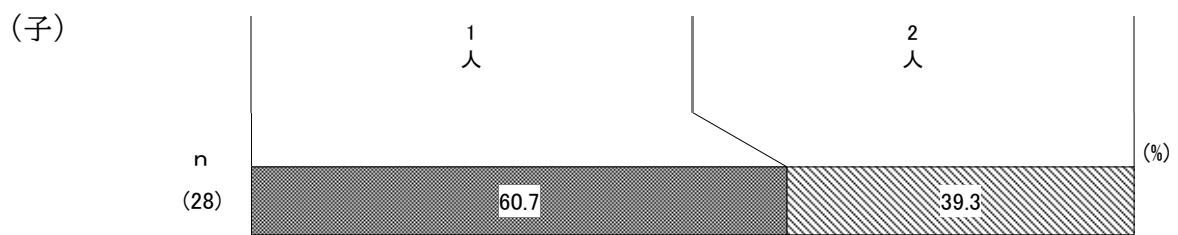
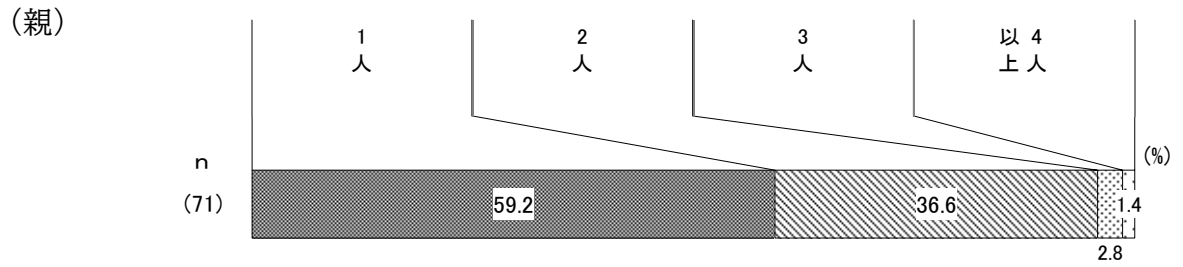
性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別では、人数の少ない層があるため、傾向がつかみにくくなっています。

【複数介護の対象／性別、年齢別】

			(%)				
		n	親	子	配偶者	その他	無回答
全 体		80	88.8	38.8	8.8	16.3	2.5
性別	男性	26	84.6	38.5	11.5	15.4	3.8
	女性	54	90.7	38.9	7.4	16.7	1.9
年齢別	50～54歳	36	86.1	58.3	8.3	5.6	5.6
	55～59歳	28	89.3	32.1	10.7	21.4	-
	60～64歳	15	93.3	6.7	6.7	33.3	-

【複数介護の対象人数】

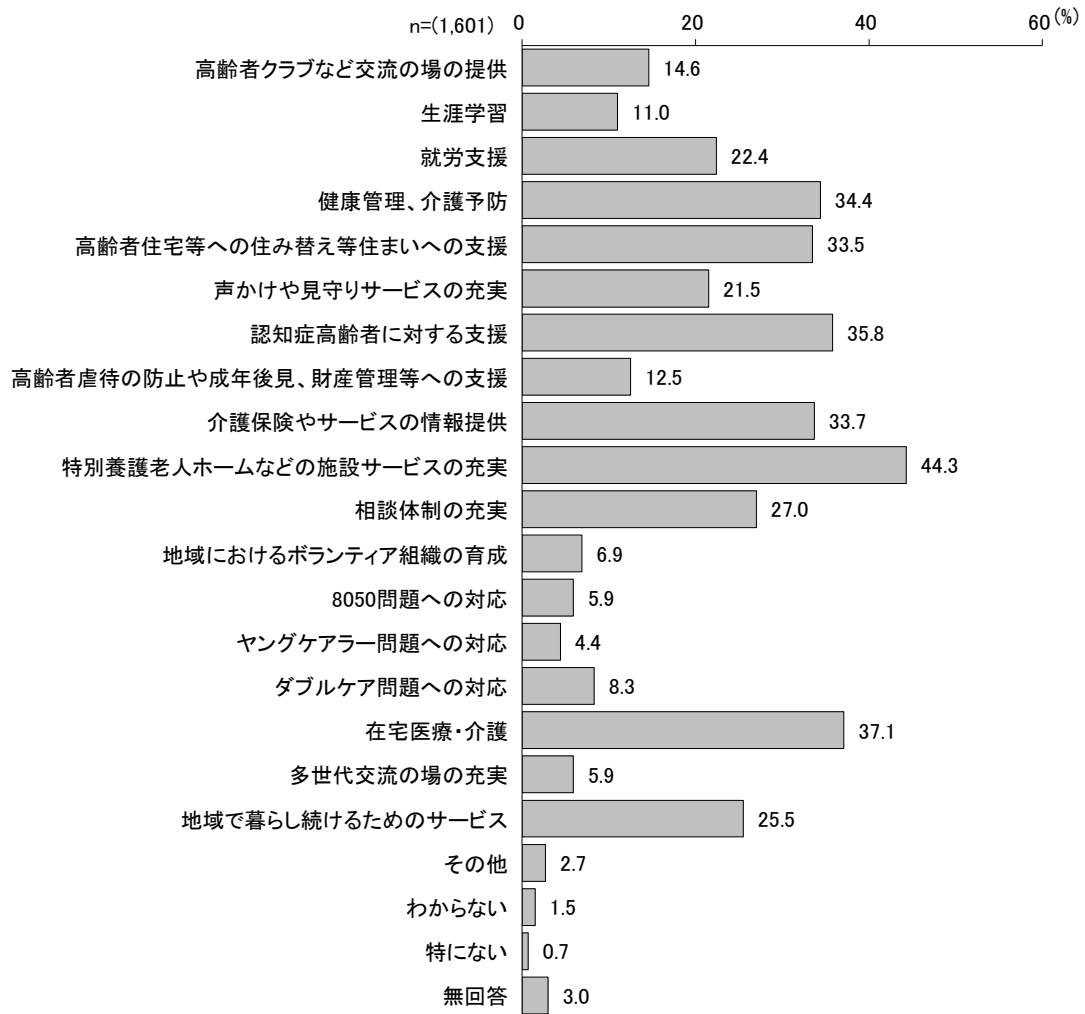
複数介護の人数としては、「親」は「1人」が59.2%、「子」も「1人」が60.7%で最も高くなっています。



問12 今後区に力を入れてほしいこと

高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいことでは、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」が44.3%で最も高く、以下、「在宅医療・介護」が37.1%、「認知症高齢者に対する支援」が35.8%、「健康管理、介護予防」が34.4%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「健康管理、介護予防」は、男性で、「介護保険やサービスの情報提供」は、女性で高くなっています。

年齢別でみると、「就労支援」や「高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、本富士地区では、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」の38.0%よりも、「在宅医療・介護」の40.6%がやや高くなっています。

介護経験の有無別でみると、現在、介護をしている層では、「認知症高齢者に対する支援」が46.9%と比較的高く、介護をしたことがない層では、「就労支援」が25.9%と比較的高くなっています。

【今後区に力を入れてほしいこと／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	高齢者クラブなど交流の場の提供	生涯学習	就労支援	健康管理、介護予防	高齢者住宅等への住み替え等住まいへの支援	声かけや見守りサービスの充実	認知症高齢者に対する支援	高齢者虐待の防止や成年後見、財産管理等への支援	介護保険やサービスの情報提供	特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	(%) 相談体制の充実
全体		1,601	14.6	11.0	22.4	34.4	33.5	21.5	35.8	12.5	33.7	44.3	27.0
性別	男性	658	12.9	10.3	23.3	38.8	31.3	18.7	37.7	10.9	28.9	44.5	25.1
	女性	943	15.7	11.5	21.7	31.4	35.0	23.5	34.5	13.6	37.1	44.2	28.3
年齢別	50～54歳	565	15.2	11.0	26.7	31.5	37.2	21.4	37.3	12.7	32.7	43.5	24.4
	55～59歳	530	16.4	12.1	22.8	36.0	33.0	23.6	34.3	13.0	31.5	44.7	26.2
	60～64歳	485	12.0	10.3	17.3	36.5	30.5	19.6	36.1	11.8	37.7	46.0	30.3
圏域別	富坂地区	543	12.5	10.9	23.0	33.1	33.3	19.7	36.3	13.8	33.5	45.7	27.8
	大塚地区	357	14.8	9.5	23.0	35.3	35.3	24.1	37.0	11.8	35.9	44.8	25.2
	本富士地区	355	16.3	12.4	20.8	34.9	31.3	22.3	32.4	10.1	34.1	38.0	27.3
	駒込地区	346	15.6	11.3	22.3	35.0	34.1	21.1	37.3	13.6	31.5	48.3	27.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	12.6	10.1	16.9	31.9	36.7	17.4	46.9	11.6	36.7	49.3	20.3
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	15.5	8.5	18.8	36.1	32.1	23.1	35.3	11.0	39.1	46.9	29.6
	介護をしたことがない	942	15.3	12.7	25.9	36.1	34.9	22.5	35.2	13.9	32.5	44.4	28.5

		地域におけるボランティア組織の育成	8050問題への対応	ヤングケアラー問題への対応	ダブルケア問題への対応	在宅医療・介護	多世代交流の場の充実	地域で暮らし続けるためのサービス	その他	わからない	特になし	無回答
全体		6.9	5.9	4.4	8.3	37.1	5.9	25.5	2.7	1.5	0.7	3.0
性別	男性	7.0	6.2	3.5	6.4	39.7	6.5	24.5	1.5	1.4	1.2	2.4
	女性	6.8	5.7	5.1	9.7	35.3	5.5	26.2	3.5	1.6	0.4	3.4
年齢別	50～54歳	7.8	6.9	5.0	10.3	34.3	5.0	24.6	2.1	1.9	0.5	2.7
	55～59歳	7.2	6.4	4.7	7.4	40.2	7.7	24.5	3.8	1.5	0.4	2.3
	60～64歳	5.4	4.3	3.5	7.0	37.1	5.4	27.8	2.1	1.0	1.2	3.5
圏域別	富坂地区	6.1	5.5	4.1	8.8	34.4	5.2	23.4	3.1	2.4	0.9	2.9
	大塚地区	9.0	7.6	4.2	6.7	37.5	5.9	23.8	2.0	0.8	0.6	2.5
	本富士地区	7.0	4.8	4.8	7.6	40.6	7.0	26.5	2.8	1.4	1.1	3.7
	駒込地区	5.8	6.1	4.9	9.8	37.3	6.1	29.5	2.6	0.9	0.3	2.9
介護経験の有無別	現在、介護をしている	7.7	8.7	4.3	10.6	43.5	4.3	19.3	2.9	1.4	0.5	1.9
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	7.0	6.5	6.8	10.0	35.6	5.5	29.6	3.8	1.3	0.5	1.0
	介護をしたことがない	7.0	5.3	3.6	7.3	38.1	6.8	26.4	1.9	1.7	0.8	0.2

(ヤングケアラー問題対応の具体例)

「ヤングケアラー問題への対応」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、20人から延べ26件の回答がありました。

ヤングケアラー問題への対応 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
支える仕組みづくり、相談体制	6
子どもの生活、学業優先	4
介護を他に任せる	3
(単に)負担軽減、支援	2
自覚を促す	2
専門職の導入、現状の把握	2
経済的な支援	2
その他	5

【主な回答内容】

1. 「支える仕組みづくり、相談体制」

- 子どもに周囲の大人を頼ってよいことを教える機会。サポートボランティアの募集。専門のコーディネーター（相談員）の設置。
- 子供だけで介護させる事なく、すぐに相談できて、様々な支援を受けられる事があたり前になるようなしくみを作ってほしい。

2. 「子どもの生活、学業優先」

- 若い人達がスムーズに学校に通えるようにする。(希望をもって生活できるように)

3. 「介護を他に任せる」

- ヤングケアラーは0人にすべき。ヘルパーなど無料で人を派遣すべき。

4. 「その他」

- 施設等への優先的な入所。
- 子供は相談できないので、心のケアをしてほしい。金銭面は、ベーシックインカムの制度を早く実現してほしい。

(その他の具体例)

「その他」を選んだ人に、具体的な内容を聞いたところ、33人から延べ36件の回答がありました。

その他 今後区に力を入れてほしいこと	(件)
施設の充実（施設数、費用）	6
経済的支援	4
介護職への待遇改善	3
就労・起業支援	3
住宅対策	3
家事支援	2
防犯対策	2
医療体制の充実	2
相談体制の充実	2
情報発信・情報公開	2
老々介護対策	1
介護者の支援	1
区、施設職員の理解、意識向上	1
その他	4

【主な回答内容】

1. 「施設の充実（施設数、費用）」

- 終末を受け入れてくれる施設と苦しまない（本人も家族も）体制。
- 施設の数が少ない、文京区内で探すのがむずかしい。
- 介護が必要になったら、（自分達の親たちの介護の経験を踏まえ）有料老人ホームに入所することになるのではないかと思うが、文京区は高額すぎて現実的ではない。夫や子供の近くのホームに入りたいたいと思っても知らない土地に行くのは不安。

2. 「経済的支援」

- 経済的なゆとりの実現への具体的な対応。
- 区による支援金の給付。

3. 「介護職への待遇改善」

- 介護をする人（事業所の職員・社員）への報酬等を充実させて、人員増に力を入れて欲しい。厳しい仕事なのに給料は安い、休みが無いなど、内容に見合った待遇が必要！！

4. 「就労・起業支援」

- 高令者の起業支援。

5. 「住宅対策」

- 区営住宅の充実（入居希望しても入れない。空きがない）。

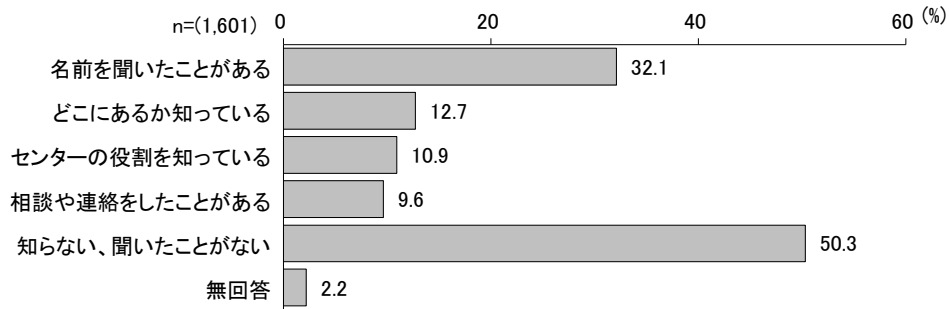
6. 「その他」

- 生存確認ができる地域の仲間クラブ。
- 高齢者が安心して歩道を歩けるように、危険な自転者を取り締まるなどの対策をして下さい。

問13 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度では、「知らない、聞いたことがない」が50.3%で最も高く、以下、「名前を聞いたことがある」が32.1%、「どこにあるか知っている」が12.7%、「センターの役割を知っている」が10.9%、「相談や連絡をしたことがある」が9.6%、「知らない、聞いたことがない」が10.9%となっています。

（複数回答）



令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。
 性別でみると、「知らない、聞いたことがない」は、男性の57.9%に対して、女性は、45.1%で、女性の認知度が高くなっています。
 年齢別でみると、「知らない、聞いたことがない」は、低年齢層ほど、認知度は、高年齢層ほど高くなっています。
 圏域別でみると、「名前を聞いたことがある」や「どこにあるか知っている」で、駒込地区が他地域よりもやや高くなっています。
 介護経験の有無別でみると、「知らない、聞いたことがない」は、介護をしたことがない層で60.6%と高くなっています。

【高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度

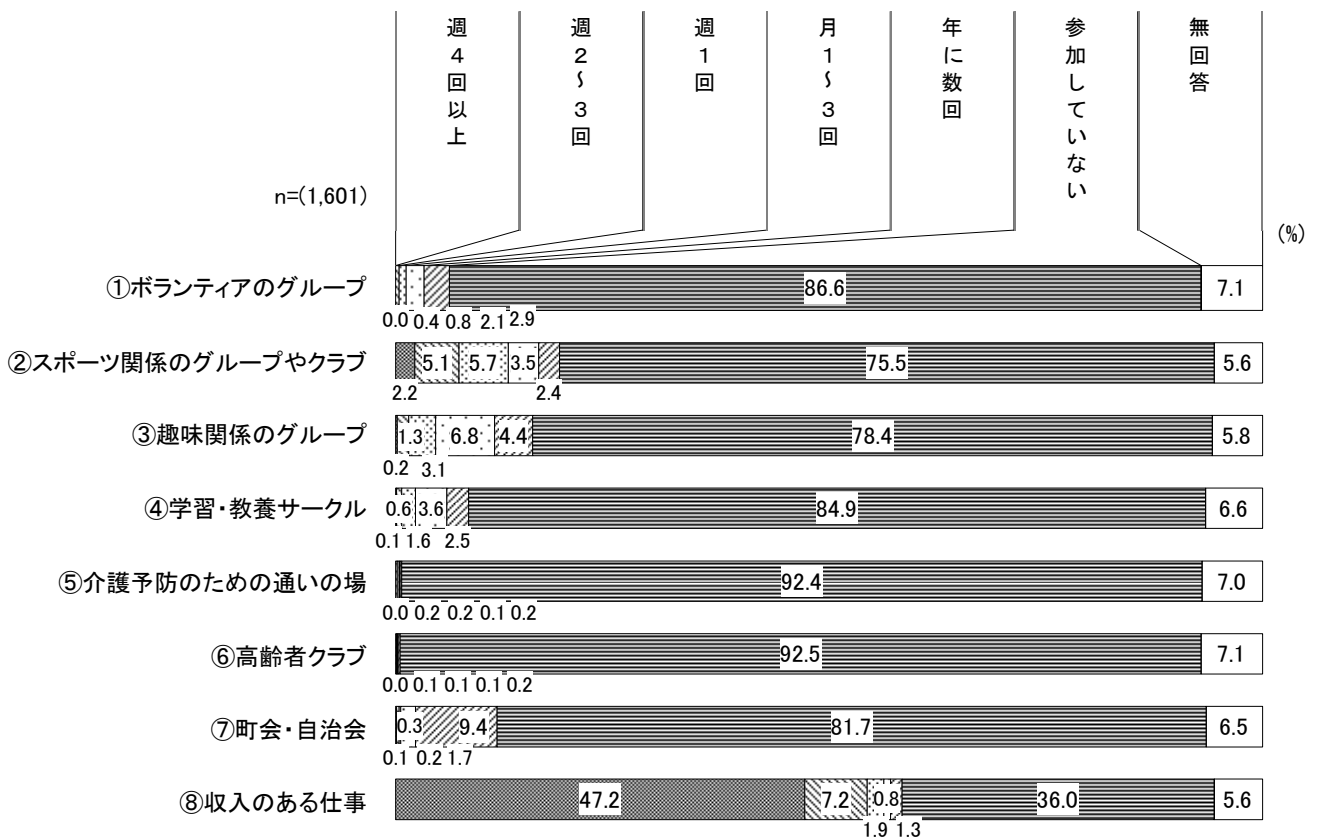
／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	名前を聞いたことがある	どこにあるか知っている	センターの役割を知っている	相談や連絡をしたことがある	知らない、聞いたことがない	無回答
全体		1,601	32.1	12.7	10.9	9.6	50.3	2.2
令和元年度		1,607	30.1	14.1	13.4	11.6	51.8	3.1
性別	男性	658	25.8	11.6	8.8	5.9	57.9	3.0
	女性	943	36.5	13.5	12.3	12.1	45.1	1.6
年齢別	50～54歳	565	29.4	11.0	8.3	8.0	54.2	2.3
	55～59歳	530	32.6	12.3	12.5	8.7	50.8	1.5
	60～64歳	485	34.6	15.3	12.4	12.8	46.2	1.4
圏域別	富坂地区	543	31.1	12.2	8.7	8.1	54.1	1.7
	大塚地区	357	31.9	11.5	13.4	9.2	49.3	3.6
	本富士地区	355	30.1	8.5	9.3	7.9	51.8	3.1
	駒込地区	346	35.8	19.1	13.3	13.9	43.9	0.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	35.7	20.3	17.4	25.6	30.4	1.9
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	38.6	18.0	15.3	19.3	38.3	1.3
	介護をしたことがない	942	29.2	9.1	7.7	2.3	60.6	1.0

5. 地域での活動

問14 会・グループ等の参加頻度

ボランティアのグループでは、「参加していない」が86.6%で最も高く、以下、「年に数回」が2.9%、「月1～3回」が2.1%となっています。



①ボランティアのグループ

ボランティアのグループを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が77.4%から86.6%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・ボランティアのグループ／性別、年齢別】

		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	-	0.4	0.8	2.1	2.9	86.6	7.1
令和元年度		1,607	0.4	1.0	1.6	2.3	3.0	77.4	14.3
性別	男性	658	-	0.2	0.9	2.0	2.9	87.8	6.2
	女性	943	-	0.6	0.7	2.1	3.0	85.8	7.7
年齢別	50～54歳	565	-	0.5	1.1	1.4	2.5	90.3	4.2
	55～59歳	530	-	0.4	0.6	2.1	3.0	87.7	6.2
	60～64歳	485	-	0.4	0.8	2.9	3.5	82.5	9.9

②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が62.6%から75.5%に増加しています。
 性別で見ると、「参加していない」は、男性が女性よりも6.8ポイント高くなっています。
 年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・スポーツ関係のグループやクラブ／性別、年齢別】

		n	(%)						
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	2.2	5.1	5.7	3.5	2.4	75.5	5.6
令和元年度		1,607	3.2	8.1	6.9	4.7	3.0	62.6	11.6
性別	男性	658	1.4	3.3	4.4	3.2	2.9	79.5	5.3
	女性	943	2.9	6.3	6.6	3.7	2.0	72.7	5.8
年齢別	50~54歳	565	1.2	4.6	5.7	3.9	1.9	78.9	3.7
	55~59歳	530	2.6	4.9	4.9	3.0	2.6	76.6	5.3
	60~64歳	485	3.1	5.8	6.8	3.7	2.7	71.1	6.8

③趣味関係のグループ

趣味関係のグループを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が64.6%から78.4%に増加しています。
 性別で見ると、「参加していない」は、男性が女性よりも9.6ポイント高くなっています。
 年齢別で見ると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・趣味関係のグループ／性別、年齢別】

		n	(%)						
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.2	1.3	3.1	6.8	4.4	78.4	5.8
令和元年度		1,607	1.2	1.7	3.3	8.8	6.5	64.6	13.9
性別	男性	658	0.2	0.8	1.8	3.6	3.6	84.0	5.9
	女性	943	0.3	1.7	3.9	9.0	4.9	74.4	5.7
年齢別	50~54歳	565	0.4	1.1	3.0	6.7	4.4	80.7	3.7
	55~59歳	530	0.4	1.3	3.8	4.3	4.7	79.8	5.7
	60~64歳	485	-	1.6	2.5	9.5	4.1	75.3	7.0

④学習・教養サークル

学習・教養サークルを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が74.9%から84.9%に増加しています。
 性別でみると、「参加していない」は、男性が女性よりも8.6ポイント高くなっています。
 年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・学習・教養サークル／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.1	0.6	1.6	3.6	2.5	84.9	6.6
令和元年度		1,607	0.3	0.7	1.6	2.7	2.9	74.9	16.8
性別	男性	658	0.2	0.3	0.8	1.8	1.7	90.0	5.3
	女性	943	0.1	0.8	2.2	4.9	3.1	81.4	7.4
年齢別	50～54歳	565	0.2	0.5	1.6	2.7	3.0	88.0	4.1
	55～59歳	530	0.2	0.6	1.1	3.6	2.1	86.4	6.0
	60～64歳	485	-	0.8	2.3	4.7	2.5	81.2	8.5

⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場について、性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・介護予防のための通いの場／性別、年齢別】

		n						(%)		
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体		1,601	-	0.2	0.2	0.1	0.2	92.4	7.0	
令和元年度		1,607	該当項目なし							
性別	男性	658	-	-	-	-	-	94.1	5.9	
	女性	943	-	0.3	0.3	0.1	0.3	91.2	7.7	
年齢別	50～54歳	565	-	-	0.2	-	-	95.8	4.1	
	55～59歳	530	-	0.2	0.2	0.2	0.4	93.0	6.0	
	60～64歳	485	-	0.4	0.2	-	0.2	89.3	9.9	

⑥高齢者クラブ

高齢者クラブを令和元年度調査と比べると、「参加していない」が81.8%から92.5%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・高齢者クラブ／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	-	0.1	0.1	0.1	0.2	92.5	7.1
令和元年度		1,607	-	0.1	0.1	0.1	-	81.8	18.0
性別	男性	658	-	-	-	-	-	93.9	6.1
	女性	943	-	0.2	0.1	0.1	0.3	91.5	7.7
年齢別	50~54歳	565	-	-	-	-	-	95.8	4.2
	55~59歳	530	-	-	-	0.2	0.4	93.4	6.0
	60~64歳	485	-	0.4	0.2	-	0.2	89.3	9.9

⑦町会・自治会

町会・自治会を令和元年度調査と比べると、「参加していない」が72.0%から81.7%に増加しています。

性別では、特に目立った違いはありません。

年齢別でみると、「参加していない」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・町会・自治会／性別、年齢別】

		n						(%)	
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	0.1	0.3	0.2	1.7	9.4	81.7	6.5
令和元年度		1,607	0.2	0.1	0.3	2.9	8.6	72.0	15.8
性別	男性	658	-	0.5	0.5	2.1	10.8	80.9	5.3
	女性	943	0.1	0.2	0.1	1.5	8.5	82.3	7.3
年齢別	50~54歳	565	-	-	-	1.2	9.2	85.7	3.9
	55~59歳	530	-	0.4	0.4	1.7	9.2	82.8	5.5
	60~64歳	485	0.2	0.6	0.4	2.5	9.9	77.1	9.3

⑧収入のある仕事

収入のある仕事を令和元年度調査と比べると、「参加していない」が28.3%から36.0%に増加しています。

性別でみると、「週4回以上」は、男性が女性よりも13.8ポイント高くなっています。

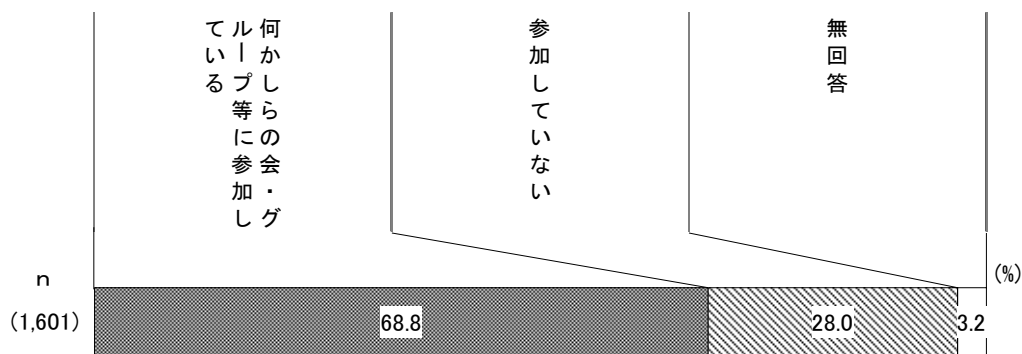
年齢別でみると、「週4回以上」は、低年齢層ほど高くなっています。

【参加頻度・収入のある仕事／性別、年齢別】

		n	(%)						
			週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,601	47.2	7.2	1.9	0.8	1.3	36.0	5.6
令和元年度		1,607	50.9	8.3	1.4	1.5	1.1	28.3	8.6
性別	男性	658	55.3	2.0	0.9	0.5	0.9	34.7	5.8
	女性	943	41.5	10.9	2.5	1.1	1.6	37.0	5.4
年齢別	50~54歳	565	51.0	8.0	1.6	0.2	1.2	34.5	3.5
	55~59歳	530	46.8	6.6	2.1	0.4	0.8	38.1	5.3
	60~64歳	485	43.7	7.4	2.1	2.1	2.1	36.1	6.6

(会・グループ活動への参加状況)

「何かしらの会・グループ等に参加している」という人は、全体の68.8%となり、7割近くになっています。



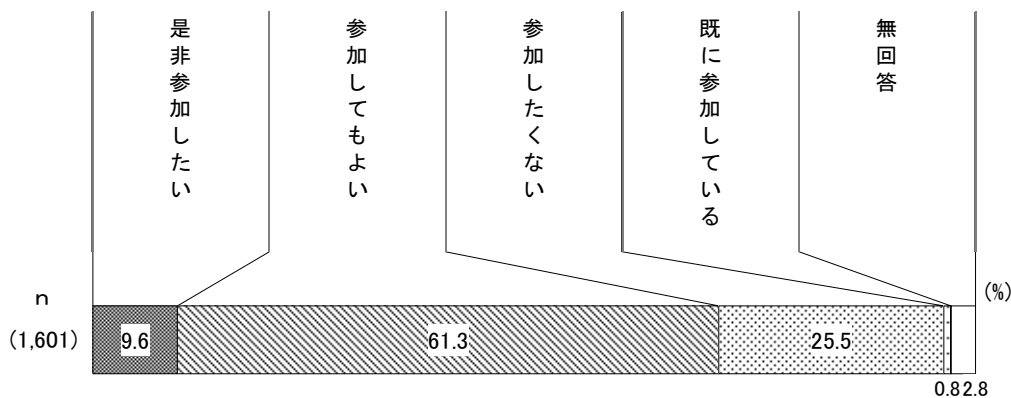
令和元年度調査と比べると、特に目立った変化はありません。
 性別では、特に目立った違いはありません。
 年齢別でみると、「何かしらの会・グループ等に参加している」は、55～59歳の層で72.7%とやや高くなっています。

【会・グループ活動への参加状況／性別、年齢別】

		n	何かしらの会・グループ等に参加している	参加していない	無回答
全体		1,601	68.8	28.0	3.2
令和元年度		658	66.6	29.3	4.1
性別	男性	943	70.3	27.1	2.5
	女性	543	68.0	29.1	2.9
年齢別	50～54歳	357	67.2	28.0	4.8
	55～59歳	355	72.7	24.2	3.1
	60～64歳	346	67.6	30.3	2.0

問15 グループ活動への参加意向（参加者として）

地域づくりを進める活動に参加者として参加したいかでは、「参加してもよい」が61.3%で最も高く、以下、「参加したくない」が25.5%、「是非参加したい」が9.6%となっています。



性別でみると、「是非参加したい」は、女性で、「参加したくない」は、男性で高くなっています。

年齢別でみると、「是非参加したい」は、60～64歳の層で7.4%とやや低くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

健康感別でみると、「参加してもよい」は、健康状態が良いほど高い傾向にあります。

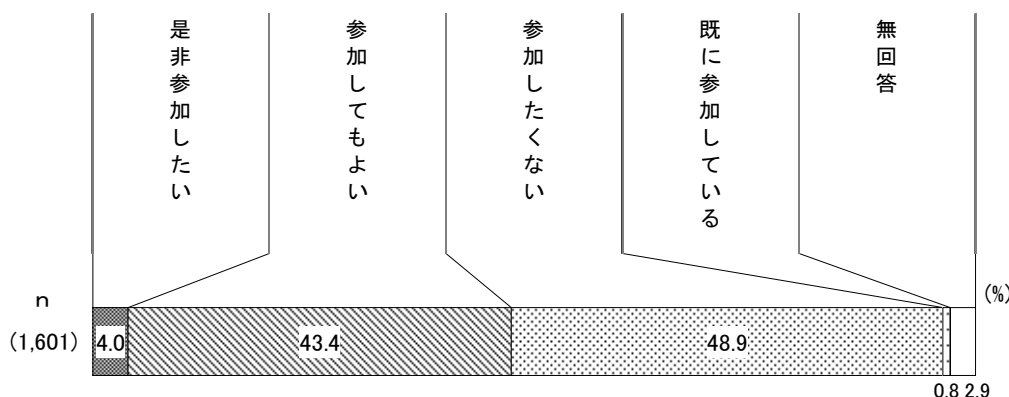
就労意向別でみると、「参加してもよい」は、仕事はしたいが、できない層で54.3%とやや低くなっています。

【グループ活動への参加意向（参加者として）／性別、年齢別、圏域別、健康感別、就労意向別】

		(%)					
		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,601	9.6	61.3	25.5	0.8	2.8
性別	男性	658	5.8	61.1	29.5	0.6	3.0
	女性	943	12.2	61.5	22.7	1.0	2.7
年齢別	50～54歳	565	10.3	62.1	23.9	0.7	3.0
	55～59歳	530	11.1	61.3	24.9	0.6	2.1
	60～64歳	485	7.4	61.0	28.7	1.0	1.9
圏域別	富坂地区	543	11.2	61.1	24.9	0.9	1.8
	大塚地区	357	9.0	59.9	26.9	-	4.2
	本富士地区	355	8.5	61.7	25.4	1.1	3.4
	駒込地区	346	8.7	62.7	25.1	1.2	2.3
健康感別	とても良い	341	11.1	63.3	22.9	1.8	0.9
	まあ良い	1,063	9.0	63.0	25.3	0.7	2.0
	あまり良くない	146	10.3	54.1	34.2	-	1.4
	良くない	19	21.1	47.4	26.3	-	5.3
就労意向別	フルタイムでの勤務	413	5.6	64.9	25.4	1.5	2.7
	パートタイムでの勤務	575	11.1	60.7	26.4	0.3	1.4
	いきがい就業	143	18.2	68.5	10.5	2.1	0.7
	仕事はしたいが、できない	70	12.9	54.3	25.7	-	7.1
	仕事をするつもりはない	336	6.0	61.6	30.7	0.3	1.5

問16 グループ活動への参加意向（世話役として）

地域づくりを進める活動の企画・運営（お世話役）として参加したいかでは、「参加したくない」が48.9%で最も高く、以下、「参加してもよい」が43.4%、「是非参加したい」が4.0%となっています。



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別、年齢別、圏域別では、特に目立った違いはありません。
 健康感別でみると、「参加してもよい」は、健康状態が良いほど高い傾向にあります。
 就労意向別でみると、「参加してもよい」は、いきがい就業の層で52.4%と高くなっています。

【グループ活動への参加意向（世話役として）／性別、年齢別、圏域別、健康感別、就労意向別】

(%)

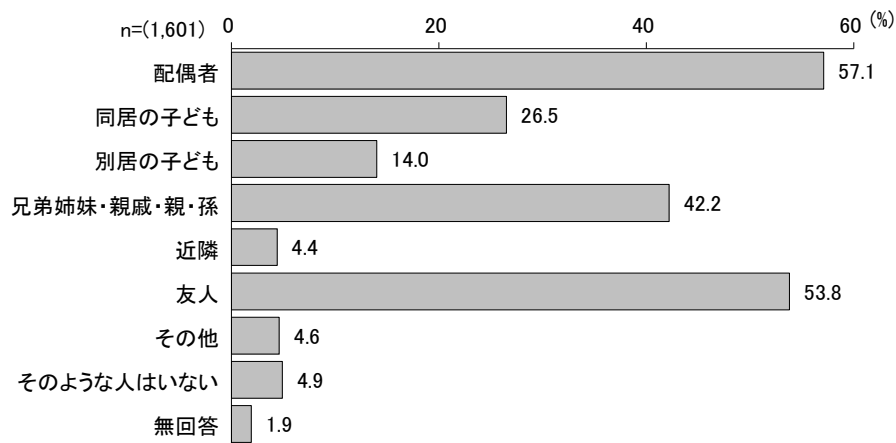
		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		1,601	4.0	43.4	48.9	0.8	2.9
性別	男性	658	2.1	44.4	49.8	0.6	3.0
	女性	943	5.3	42.7	48.3	1.0	2.8
年齢別	50～54歳	565	5.3	45.0	45.7	0.9	3.2
	55～59歳	530	4.0	42.6	51.3	0.2	1.9
	60～64歳	485	2.7	43.5	50.7	1.0	2.1
圏域別	富坂地区	543	5.9	43.8	47.7	0.6	2.0
	大塚地区	357	2.8	43.1	49.3	0.6	4.2
	本富士地区	355	3.4	41.1	51.0	1.4	3.1
	駒込地区	346	2.9	45.4	48.3	0.9	2.6
健康感別	とても良い	341	4.7	49.0	44.0	1.5	0.9
	まあ良い	1,063	3.5	43.4	50.3	0.7	2.2
	あまり良くない	146	5.5	39.7	52.7	0.7	1.4
	良くない	19	15.8	31.6	52.6	-	-
就労意向別	フルタイムでの勤務	413	2.7	46.2	46.7	1.2	3.1
	パートタイムでの勤務	575	3.8	45.0	49.2	0.7	1.2
	いきがい就業	143	10.5	52.4	35.7	0.7	0.7
	仕事はしたいが、できない	70	4.3	40.0	47.1	-	8.6
	仕事をするつもりはない	336	1.5	38.1	58.9	0.3	1.2

6. たすけあい

問17 心配や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、「配偶者」が57.1%で最も高く、以下、「友人」が53.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が42.2%、「同居の子ども」が26.5%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「配偶者」は、男性で、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別でみると、「同居の子ども」は、低年齢層ほど、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

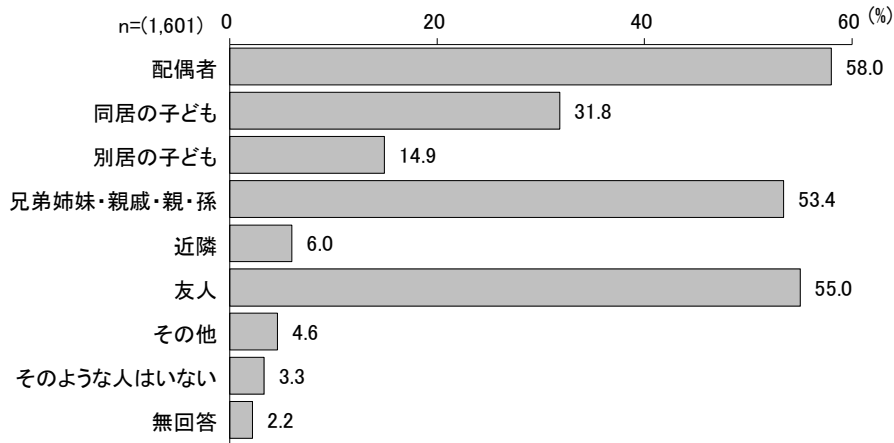
【心配や愚痴を聞いてくれる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	57.1	26.5	14.0	42.2	4.4	53.8	4.6	4.9	1.9
性別	男性	658	67.0	21.1	10.6	31.6	3.0	40.4	3.6	7.0	2.7
	女性	943	50.2	30.2	16.3	49.5	5.3	63.2	5.2	3.4	1.3
年齢別	50～54歳	565	57.7	31.7	4.8	48.8	4.8	55.6	5.8	4.1	2.1
	55～59歳	530	59.1	27.0	15.8	37.5	2.5	52.3	4.7	5.5	1.1
	60～64歳	485	54.8	20.4	22.7	40.2	5.6	54.2	3.1	4.9	1.2
圏域別	富坂地区	543	56.4	27.1	14.5	43.3	5.7	53.0	4.4	4.6	1.8
	大塚地区	357	57.1	26.9	14.0	38.1	2.8	52.1	3.1	6.4	2.5
	本富士地区	355	56.6	22.3	14.4	42.8	4.5	53.2	5.1	5.6	1.7
	駒込地区	346	58.7	29.5	12.7	43.9	3.8	57.5	5.8	2.9	1.4

問18 心配や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人では、「配偶者」が58.0%で最も高く、以下、「友人」が55.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が53.4%、「同居の子ども」が31.8%となっています。

(複数回答)



性別でみると、「配偶者」は、男性で、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」や「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別でみると、「同居の子ども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

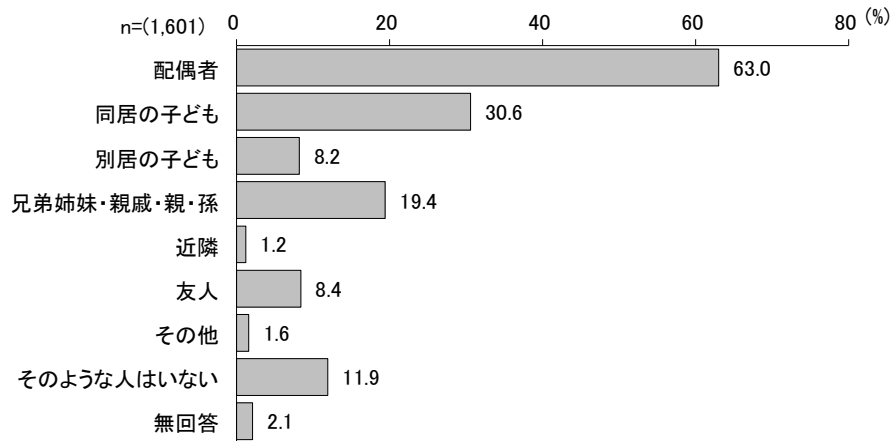
【心配や愚痴を聞いてあげる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	58.0	31.8	14.9	53.4	6.0	55.0	4.6	3.3	2.2
性別	男性	658	69.9	28.9	11.1	40.6	4.4	40.6	3.8	5.9	3.3
	女性	943	49.6	33.8	17.6	62.4	7.1	65.1	5.2	1.5	1.5
年齢別	50～54歳	565	60.2	40.5	4.2	60.9	6.7	56.3	5.5	2.3	2.3
	55～59歳	530	58.3	31.3	17.2	51.3	3.6	54.2	5.7	3.8	1.5
	60～64歳	485	55.7	22.7	25.2	48.0	7.4	55.7	2.7	3.7	1.9
圏域別	富坂地区	543	57.8	30.6	14.7	55.1	7.0	53.2	3.9	2.6	2.0
	大塚地区	357	57.1	33.9	16.5	50.4	5.0	54.9	3.9	2.8	2.8
	本富士地区	355	57.7	28.7	14.9	52.7	6.5	55.8	5.4	5.4	2.0
	駒込地区	346	59.2	34.7	13.6	54.6	4.9	57.2	5.8	2.9	2.3

問19 看病してくれる人

病気の際、看病や世話をしてくれる人では、「配偶者」が63.0%で最も高く、以下、「同居の子ども」が30.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.4%となっています。一方、「そのような人はいない」は11.9%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「配偶者」は、男性で、「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、「同居の子ども」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

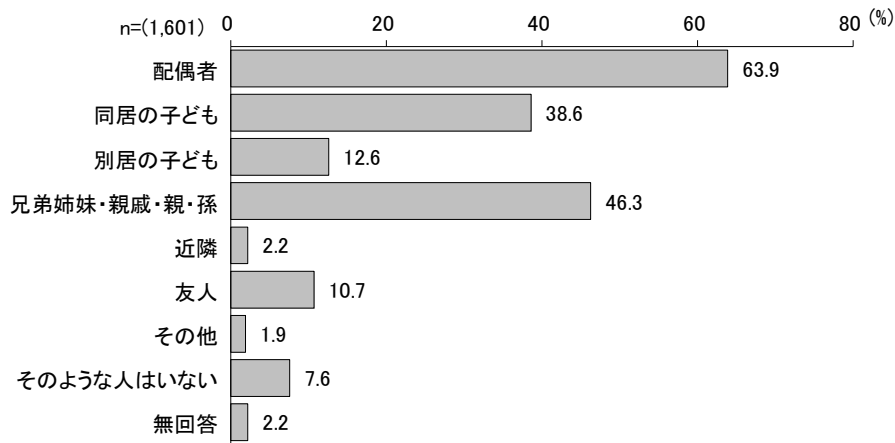
【看病してくれる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	63.0	30.6	8.2	19.4	1.2	8.4	1.6	11.9	2.1
性別	男性	658	74.8	25.2	4.6	13.4	0.6	4.6	0.9	11.7	2.6
	女性	943	54.7	34.4	10.8	23.5	1.7	11.1	2.0	12.1	1.7
年齢別	50～54歳	565	66.4	37.5	1.6	23.4	1.2	8.1	1.8	11.0	1.9
	55～59歳	530	63.4	30.0	9.2	16.8	0.4	8.3	1.5	12.3	1.5
	60～64歳	485	59.6	23.5	14.6	17.9	2.1	8.9	1.4	12.8	1.6
圏域別	富坂地区	543	62.8	31.1	9.2	19.2	2.4	7.9	1.8	10.1	2.2
	大塚地区	357	63.0	30.0	9.5	18.8	-	9.0	1.4	12.9	2.5
	本富士地区	355	62.0	25.9	6.8	20.0	1.4	8.5	2.0	13.0	1.4
	駒込地区	346	64.2	35.3	6.9	19.7	0.6	8.7	0.9	12.7	2.0

問20 看病してあげる人

病気の際、看病や世話をしてあげる人では、「配偶者」が63.9%で最も高く、以下、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が46.3%、「同居の子ども」が38.6%、となっています。

(複数回答)



性別で見ると、「配偶者」は、男性で、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「友人」は、女性で高くなっています。

年齢別で見ると、「同居の子ども」や「兄弟姉妹・親戚・親・孫」は、低年齢層ほど高いのに対して、「別居の子ども」は、高年齢層ほど高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

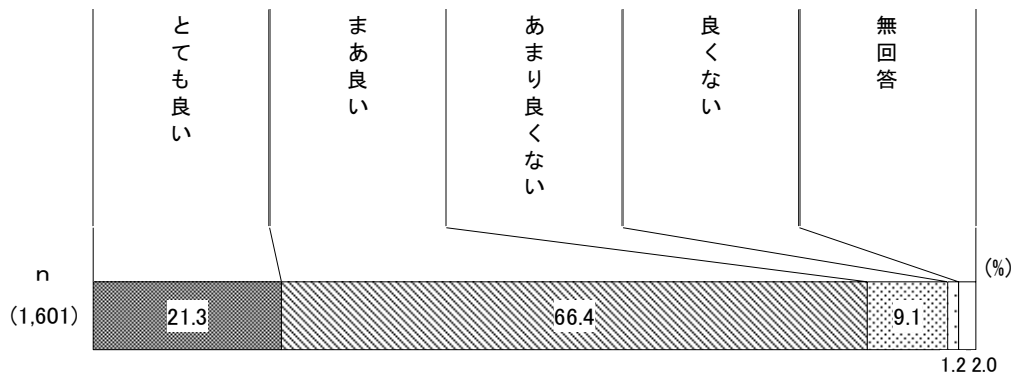
【看病してあげる人／性別、年齢別、圏域別】

		n	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,601	63.9	38.6	12.6	46.3	2.2	10.7	1.9	7.6	2.2
性別	男性	658	70.8	37.8	6.8	33.4	1.4	5.9	1.1	10.2	3.0
	女性	943	59.1	39.1	16.6	55.4	2.8	14.0	2.4	5.8	1.7
年齢別	50～54歳	565	66.9	50.3	4.8	52.4	1.9	10.4	2.5	5.7	2.1
	55～59歳	530	65.3	38.9	14.5	45.7	1.5	11.7	2.1	7.9	1.9
	60～64歳	485	60.2	25.4	19.8	41.0	3.1	10.1	1.0	9.3	1.6
圏域別	本富士地区	543	65.4	38.3	11.6	45.1	3.5	9.8	1.7	5.3	2.6
	駒込地区	357	61.9	41.5	13.4	46.5	0.6	9.5	1.7	9.8	2.5
	本富士地区	355	62.5	33.8	12.4	49.3	2.0	11.8	1.7	7.0	2.0
	駒込地区	346	65.0	41.0	13.6	45.1	2.0	12.1	2.6	9.5	1.7

7. 健康・介護予防

問21 現在の健康状態

現在の健康状態では、「まあ良い」が66.4%で最も高く、以下、「とても良い」が21.3%、「あまり良くない」が9.1%となっています。



性別では、特に目立った違いはありません。

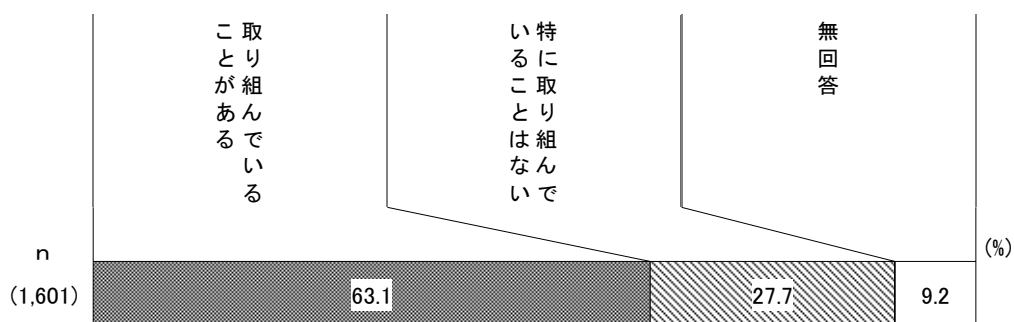
年齢別でみると、「とても良い」は、低年齢層ほど高くなっています。

【現在の健康状態／性別、年齢別】

		n	とても良い (%)	まあ良い (%)	あまり良くない (%)	良くない (%)	無回答 (%)
全体		1,601	21.3	66.4	9.1	1.2	2.0
性別	男性	658	21.7	64.6	9.3	1.8	2.6
	女性	943	21.0	67.7	9.0	0.7	1.6
年齢別	50～54歳	565	25.1	64.8	7.6	0.4	2.1
	55～59歳	530	19.8	67.5	9.8	1.5	1.3
	60～64歳	485	18.6	68.2	9.9	1.9	1.4

問22 介護予防の取組状況

健康の維持・増進のための取り組みの有無では、「取り組んでいることがある」が63.1%、「特に取り組んでいることはない」が27.7%となっています。



性別及び年齢別では、特に目立った違いはありません。

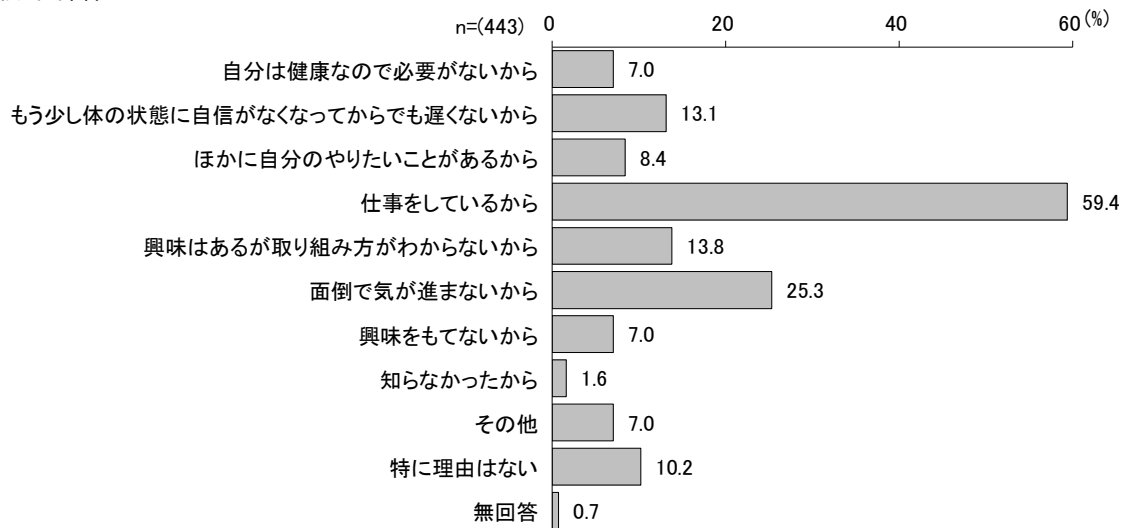
【介護予防の取組状況／性別、年齢別】

			(%)		
		n	取り組んでいることがある	特に取り組んでいることはない	無回答
全体		1,601	63.1	27.7	9.2
性別	男性	658	62.8	28.9	8.4
	女性	943	63.3	26.8	9.9
年齢別	50～54歳	565	62.5	28.7	8.8
	55～59歳	530	65.5	27.2	7.4
	60～64歳	485	62.5	27.2	10.3

問22-1 介護予防に取り組んでいない理由

取り組んでいない主な理由では、「仕事をしているから」が59.4%で最も高く、以下、「面倒で気が進まないから」が25.3%、「興味はあるが取り組み方がわからないから」が13.8%、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」が13.1%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男性は、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」、「仕事をしているから」、「面倒で気が進まないから」で高くなっています。

年齢別で見ると、「仕事をしているから」で、55～59歳の層が54.9%とやや低くなっています。

健康感別で見ると、「自分は健康なので必要がないから」、「もう少し体の状態に自信がなくなってからでも遅くないから」、「ほかに自分のやりたいことがあるから」、「仕事をしているから」は、健康状態が良い層ほど、一方、「興味はあるが取り組み方がわからないから」は、健康状態が良くない層ほど高くなっています。

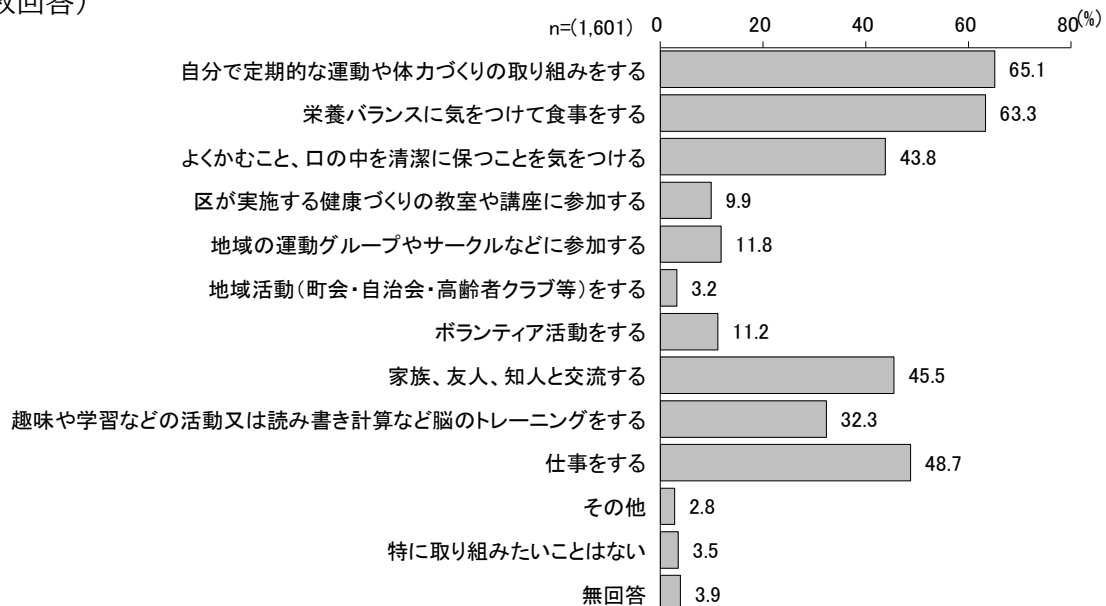
【介護予防に取り組んでいない理由／性別、年齢別、健康感別】

		n	自分は健康なので必要がないから	もう少し体の状態に自信がなくなつてからでも遅くないから	ほかに自分のやりたいことがあるから	仕事をしているから	興味はあるが取り組み方がわからないから	面倒で気が進まないから	興味をもてないから	知らなかったから	その他	特に理由はない	無回答
全体		443	7.0	13.1	8.4	59.4	13.8	25.3	7.0	1.6	7.0	10.2	0.7
性別	男性	190	6.3	17.9	7.9	68.9	11.1	30.0	5.8	1.1	2.6	8.4	1.1
	女性	253	7.5	9.5	8.7	52.2	15.8	21.7	7.9	2.0	10.3	11.5	0.4
年齢別	50～54歳	162	9.3	11.1	5.6	62.3	11.1	27.2	3.1	0.6	4.9	9.9	1.2
	55～59歳	144	5.6	15.3	8.3	54.9	14.6	26.4	7.6	2.1	9.7	10.4	-
	60～64歳	132	6.1	13.6	12.1	61.4	15.9	22.0	10.6	2.3	6.8	9.8	0.8
健康感別	とても良い	59	18.6	22.0	13.6	64.4	6.8	13.6	-	-	3.4	13.6	-
	まあ良い	330	6.1	12.1	8.2	60.0	14.5	26.1	7.6	1.8	6.4	10.3	0.3
	あまり良くない 良くない	45 7	- -	11.1 -	4.4 -	48.9 57.1	15.6 28.6	35.6 28.6	13.3 -	2.2 -	15.6 -	2.2 14.3	2.2 14.3

問23 介護予防のために今後取り組みたいこと

健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいことでは、「自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする」が65.1%で最も高く、以下、「栄養バランスに気をつけて食事をする」が63.3%、「仕事をする」が48.7%、「家族、友人、知人と交流する」が45.5%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、女性は、「よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける」、「区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する」、「家族、友人、知人と交流する」、「趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする」において、男性を上回っています。

年齢別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする」は、高齢層ほど高い傾向にあります。

健康感別でみると、「栄養バランスに気をつけて食事をする」や「家族、友人、知人と交流する」は、健康感が良いほど高くなっています。

【介護予防のために今後取り組みたいこと／性別、年齢別、健康感別】

		n	(%)									
			自分で定期的な運動や体力づくりの取り組みをする	栄養バランスに気をつけて食事をする	よくかむこと、口の中を清潔に保つことを気をつける	区が実施する健康づくりの教室や講座に参加する	地域の運動グループやサークルなどに参加する	地域活動(町会・自治会・高齢者クラブ等)をする	ボランティア活動をする	家族、友人、知人と交流する	趣味や学習などの活動又は読み書き計算など脳のトレーニングをする	仕事を
全体		1,601	65.1	63.3	43.8	9.9	11.8	3.2	11.2	45.5	32.3	48.7
性別	男性	658	67.2	60.3	38.3	5.0	10.8	3.5	9.4	37.7	26.6	50.5
	女性	943	63.7	65.4	47.7	13.4	12.5	3.1	12.5	50.9	36.3	47.4
年齢別	50～54歳	565	67.3	60.7	41.4	9.7	13.8	2.5	12.7	43.5	29.2	47.6
	55～59歳	530	65.8	63.0	42.5	10.6	10.9	3.2	11.7	46.4	32.6	49.1
	60～64歳	485	63.3	67.8	49.1	9.5	10.5	4.3	9.3	47.4	35.9	50.5
健康感別	とても良い	341	68.6	68.9	47.8	8.8	12.6	2.6	14.1	53.1	36.7	56.0
	まあ良い	1,063	66.8	63.7	43.7	10.4	12.0	3.5	11.4	45.2	32.0	49.0
	あまり良くない	146	58.9	60.3	42.5	11.0	11.6	3.4	5.5	41.1	32.9	38.4
	良くない	19	63.2	57.9	52.6	10.5	5.3	5.3	15.8	21.1	21.1	52.6

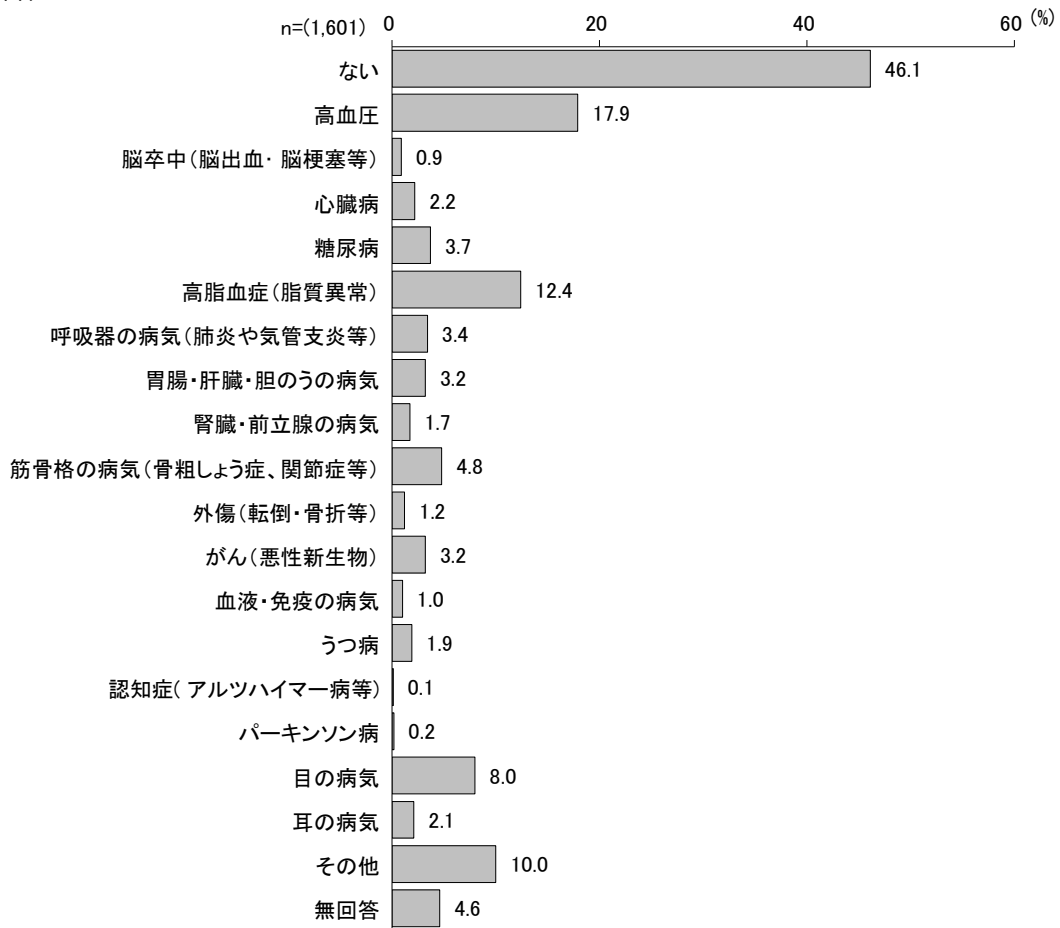
		その他	特に取り組みたいことはない	無回答
全体		2.8	3.5	3.9
性別	男性	2.1	4.6	5.0
	女性	3.3	2.8	3.1
年齢別	50～54歳	3.2	4.1	3.7
	55～59歳	2.8	3.4	3.2
	60～64歳	2.5	3.1	3.3
健康感別	とても良い	3.5	4.4	2.1
	まあ良い	2.4	3.0	2.0
	あまり良くない	4.1	5.5	3.4
	良くない	5.3	-	5.3

8. 医療

問24 病気の状況

現在治療中、または後遺症のある病気の有無では、「ない」が46.1%で最も高く、以下、「高血圧」が17.9%、「高脂血症（脂質異常）」が12.4%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別で見ると、男性は、女性よりも、「高血圧」、「糖尿病」、「高脂血症（脂質異常）」で高くなっています。

年齢別で見ると、「高血圧」や「高脂血症（脂質異常）」は、高年齢層ほど高くなっています。

健康感別で見ると、「ない」は、健康感が良いほど高くなっています。また、「まあよい」層でも、「高血圧」や「高脂血症（脂質異常）」は、それぞれ18.7%、13.5%と比較的高くなっています。

【病気の状況／性別、年齢別、健康感別】

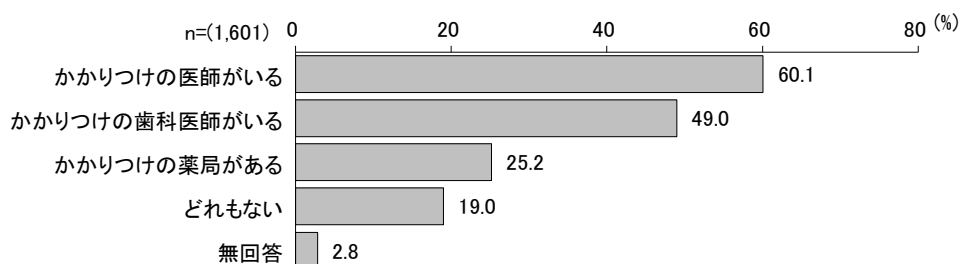
		n	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・ 脳梗塞 等)	心臓病	糖尿病	高脂血 症(脂質 異常)	呼吸器の 病気(肺 炎や気管 支炎等)	胃腸・肝 臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)
全体		1,601	46.1	17.9	0.9	2.2	3.7	12.4	3.4	3.2	1.7	4.8
性別	男性	658	41.0	25.7	1.8	3.6	6.5	15.8	3.8	3.3	3.5	3.2
	女性	943	49.6	12.5	0.3	1.3	1.7	10.1	3.1	3.1	0.4	5.9
年齢別	50～54歳	565	57.2	10.4	0.9	1.2	1.9	7.1	3.0	2.5	0.4	1.9
	55～59歳	530	44.3	18.1	0.9	2.6	4.5	13.2	3.8	3.2	1.1	5.1
	60～64歳	485	35.9	26.6	1.0	3.1	4.9	18.1	3.5	3.7	3.9	7.4
健康 感別	とても良い	341	67.7	12.0	0.3	0.3	1.2	8.8	1.5	0.9	0.6	0.9
	まあ良い	1,063	45.9	18.7	0.5	2.2	3.3	13.5	3.3	3.5	1.5	5.8
	あまり良くない	146	12.3	28.1	4.8	6.2	12.3	16.4	9.6	7.5	4.1	7.5
	良くない	19	-	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5	-	-	15.8	5.3

		外傷 (転倒・ 骨折 等)	がん(悪 性新生 物)	血液・免 疫の病 気	うつ病	認知症(アルツ ハイマ ー病 等)	パーキン ソン病	目の病 気	耳の病 気	その他	無回答
全体		1.2	3.2	1.0	1.9	0.1	0.2	8.0	2.1	10.0	4.6
性別	男性	0.5	2.4	0.8	2.3	-	0.6	7.0	1.5	7.9	4.9
	女性	1.8	3.7	1.2	1.6	0.1	-	8.7	2.5	11.5	4.3
年齢別	50～54歳	1.1	2.1	1.4	1.8	0.2	-	4.1	1.4	10.3	5.0
	55～59歳	1.1	3.4	0.8	2.8	-	0.2	9.1	2.5	9.2	4.0
	60～64歳	1.6	4.3	0.8	1.0	-	0.6	11.3	2.7	10.5	3.7
健康 感別	とても良い	-	0.6	0.3	0.3	-	-	5.3	1.2	4.7	3.2
	まあ良い	1.6	2.4	0.8	0.8	-	0.1	7.7	2.4	10.3	2.7
	あまり良くない	1.4	11.6	3.4	13.0	0.7	1.4	16.4	2.7	22.6	1.4
	良くない	5.3	36.8	5.3	5.3	-	5.3	21.1	-	5.3	10.5

問25 かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

かかりつけ医・歯科医・薬局の有無では、「かかりつけの医師がいる」が60.1%で最も高く、以下、「かかりつけの歯科医師がいる」が49.0%、「かかりつけの薬局がある」が25.2%、「どれも無い」が19.0%となっています。

(複数回答)



性別でみると、女性は、「かかりつけの歯科医師がいる」と「かかりつけの薬局がある」で、男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、「かかりつけの薬局がある」は、年齢による違いが比較的小さくなっています。

健康感別でみると、「かかりつけの歯科医師がいる」は、医師や薬局とは逆に、健康感が良いほど高くなっています。

【かかりつけ医・歯科医・薬局の有無／性別、年齢別、健康感別】

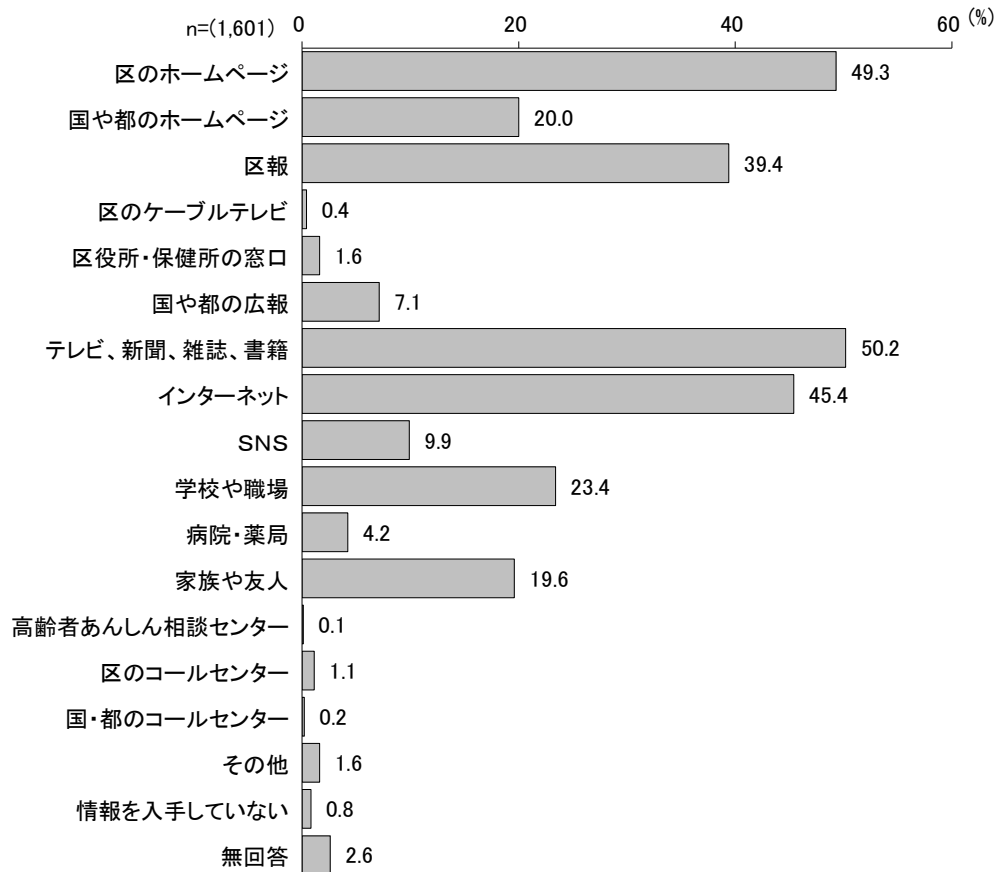
(%)

		n	かかりつ けの医師 がいる	かかりつ けの歯科 医師がい る	かかりつ けの薬局 がある	どれもな い	無回答
全 体		1,601	60.1	49.0	25.2	19.0	2.8
性別	男性	658	60.0	38.6	19.1	21.7	3.3
	女性	943	60.1	56.2	29.4	17.1	2.4
年齢別	50～54歳	565	52.4	45.3	22.5	23.5	3.0
	55～59歳	530	61.5	47.4	26.6	20.0	2.6
	60～64歳	485	67.8	56.3	27.2	12.8	1.9
健康 感別	とても良い	341	58.1	50.4	20.2	22.6	0.9
	まあ良い	1,063	59.3	49.6	25.2	18.9	1.8
	あまり良くない	146	77.4	49.3	37.7	13.0	2.1
	良くない	19	73.7	42.1	36.8	15.8	5.3

問26 新型コロナウイルスワクチン接種情報の取得手段

新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種の情報の入手方法では、「テレビ、新聞、雑誌、書籍」が50.2%で最も高く、以下、「区のホームページ」が49.3%、「インターネット」が45.4%、「区報」が39.4%となっています。

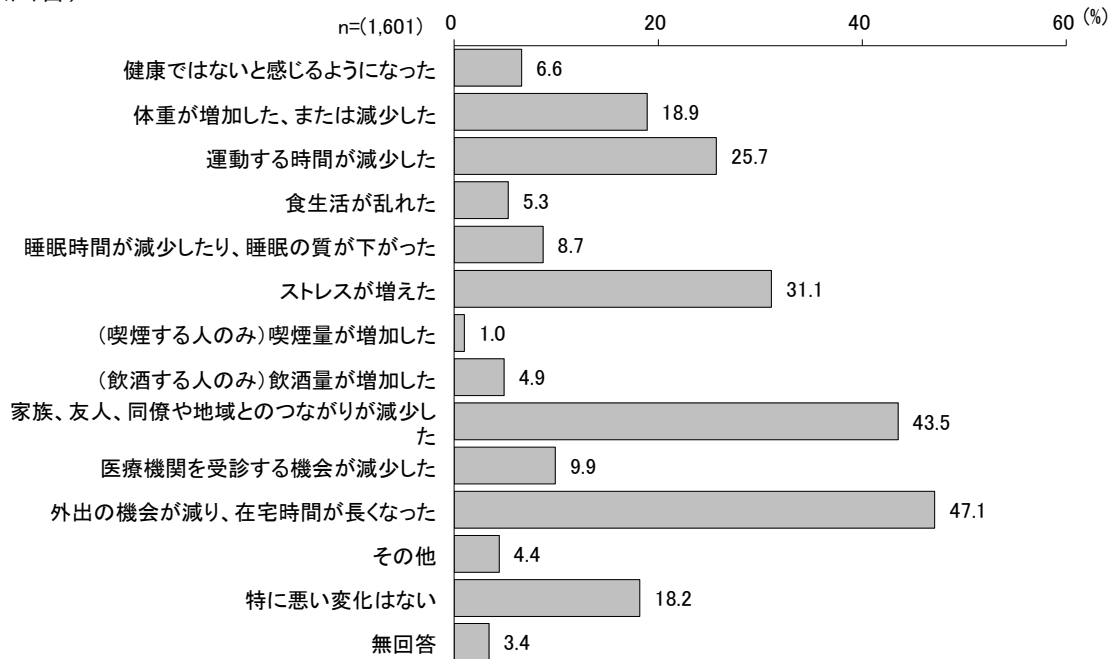
(複数回答)



問27 新型コロナウイルス感染症による生活の変化

新型コロナウイルス感染症により、あなたの健康や生活に悪い変化はあったかでは、「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が47.1%で最も高く、以下、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」が43.5%、「ストレスが増えた」が31.1%、「運動する時間が減少した」が25.7%となっています。

(複数回答)



性別で見ると、男女とも「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」が最も高くなっています。女性は、「(喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した」と「(飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した」以外は男性よりも、特に、「家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した」と「外出の機会が減り、在宅時間が長くなった」では10ポイント以上高くなっています。

【新型コロナウイルス感染症による生活の変化／性別】

		n	健康ではないと感じるようになった	体重が増加した、または減少した	運動する時間が減少した	食生活が乱れた	睡眠時間が減少したり、睡眠の質が下がった	ストレスが増えた	(喫煙する人のみ) 喫煙量が増加した	(飲酒する人のみ) 飲酒量が増加した	家族、友人、同僚や地域とのつながりが減少した	医療機関を受診する機会が減少した
全体		1,601	6.6	18.9	25.7	5.3	8.7	31.1	1.0	4.9	43.5	9.9
性別	男性	658	6.1	15.8	24.2	4.6	6.4	25.7	1.2	6.8	34.5	4.9
	女性	943	7.0	21.0	26.7	5.8	1.04	34.9	0.8	3.6	49.8	13.5

		外出の機会が減り、在宅時間が長くなった	その他	特に悪い変化はない	無回答
全体		47.1	4.4	18.2	3.4
性別	男性	41.2	2.6	22.9	4.7
	女性	51.2	5.6	15.0	2.5

問28 新型コロナウイルス感染症下で健康・生活維持のために工夫したこと（記述）

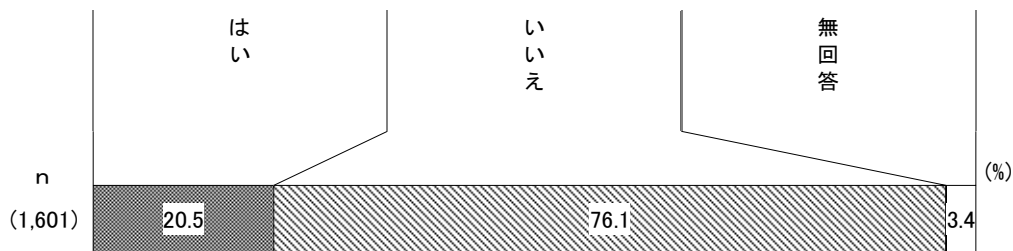
364人の回答者から、延べ722件の回答がありました。

項目	件数
体力保持、ウォーキング	130
手洗い	82
マスク	73
食生活、健康食品、サプリメント等	54
うがい	53
消毒	40
ソーシャルディスタンス、三密回避	35
規則正しい生活、睡眠	35
気分転換、リラックス、趣味	34
外出制限	30
会合、会話制限	21
外食制限	19
ワクチン接種	13
片付け、整理整頓、生活の見直し	12
交通機関使用制限	11
テレワーク実施、在宅勤務	10
空気清浄、着替え洗濯、入浴	9
スマホ等でのコミュニケーション	6
通販、宅配利用	6
家族で過ごす	6
情報収集	5
換気	4
（漠然と）注意、予防、清潔	4
PCR検査、検温、体重測定	3
主治医を持つ、医療相談	3
手すりや顔に触れない	3
特に何もしない、できない	2
引っ越し、転職	2
自宅にパーティション、別々に食事	2
禁煙	1
その他	14

9. 認知症

問29 認知症症状がある人の有無

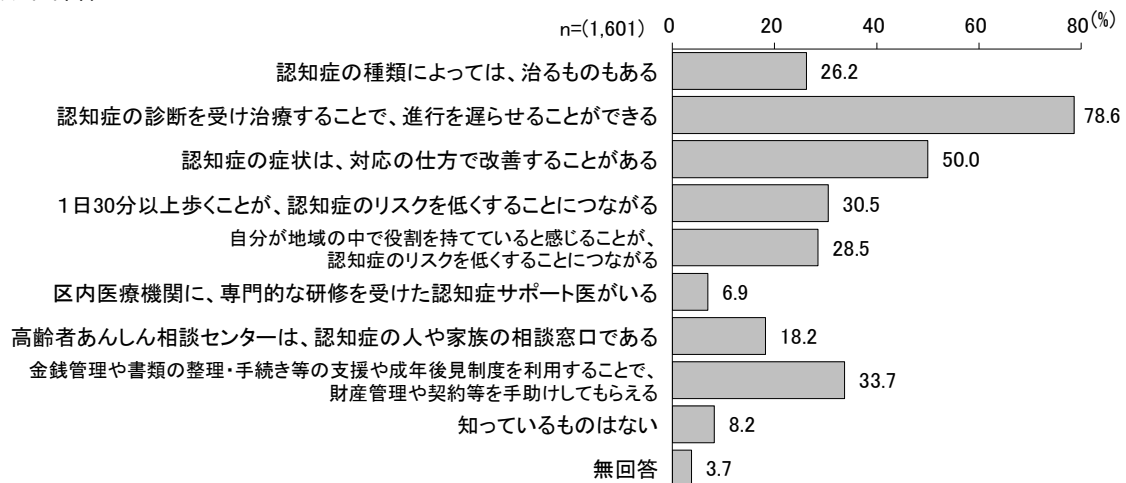
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかでは、「いいえ」が76.1%、「はい」が20.5%となっています。



問30 認知症に対して認識している内容

認知症について知っていることでは、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が78.6%で最も高く、以下、「認知症の症状は、対応の仕方でも改善することができる」が50.0%、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえる」が33.7%、「1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる」が30.5%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、男女とも「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」が最も高く、男性は、「認知症の種類によっては、治るものもある」と「知っているものはない」が、それ以外では女性の方が高く、特に、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえらる」では、男性よりも10ポイント以上高くなっています。

年齢別でみると、50～54歳の層は、「認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる」、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえらる」でやや低く、「知っているものはない」が高くなっています。

圏域別では、特に目立った違いはありません。

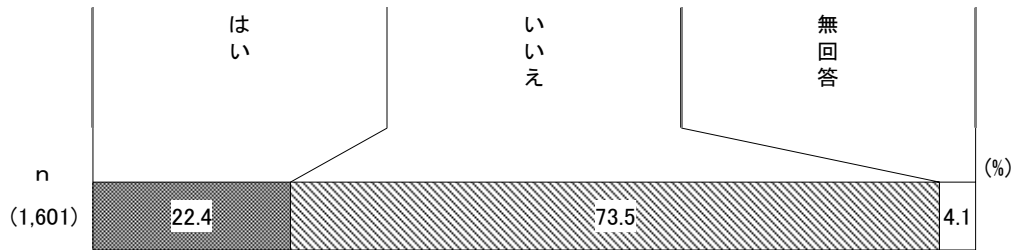
介護経験の有無別でみると、「介護をしたことがない」層は、「認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある」、「高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である」、「金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえらる」が低くなっています。

【認知症に対して認識している内容／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	認知症の種類によって、治るものもある	認知症の診断を受け治療することで、進行を遅らせることができる	認知症の症状は、対応の仕方で改善することがある	1日30分以上歩くことが、認知症のリスクを低くすることにつながる	自分が地域の中で役割を持っていることが、認知症のリスクを低くすることにつながる	区内医療機関に、専門的な研修を受けたサポート医がいる	高齢者あんしん相談センターは、認知症の人や家族の相談窓口である	金銭管理や書類の整理・手続き等の支援や成年後見制度を利用することで、財産管理や契約等を手助けしてもらえらる	知っているものはない	(%) 無回答
全体		1,601	26.2	78.6	50.0	30.5	28.5	6.9	18.2	33.7	8.2	3.7
性別	男性	658	29.0	72.3	47.0	28.9	24.9	6.1	12.3	27.4	11.4	4.4
	女性	943	24.3	82.9	52.2	31.7	31.0	7.5	22.4	38.2	5.9	3.2
年齢別	50～54歳	565	24.6	74.0	43.0	28.5	29.9	7.6	16.3	28.3	11.9	3.7
	55～59歳	530	27.2	83.2	54.9	34.0	30.4	7.4	20.8	37.5	5.8	3.6
	60～64歳	485	27.0	80.2	53.6	29.7	24.7	5.8	18.1	36.5	6.0	3.1
圏域別	富坂地区	543	23.2	77.3	50.1	31.3	25.6	4.6	17.5	31.1	8.8	4.1
	大塚地区	357	24.1	80.1	51.0	29.1	27.2	6.7	17.1	35.3	8.1	3.6
	本富士地区	355	30.4	76.9	50.1	30.1	30.4	9.9	16.6	36.9	8.2	3.9
	駒込地区	346	28.9	80.6	48.8	31.2	32.4	7.8	22.3	32.9	7.2	2.9
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	27.5	82.6	58.5	31.9	28.5	10.6	32.4	40.6	5.3	3.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	25.6	83.2	57.4	31.3	29.6	9.5	22.6	39.8	5.3	3.5
	介護をしたことがない	942	26.1	76.5	46.2	30.4	28.7	5.1	13.6	30.5	10.4	2.3

問31 認知症相談窓口の認知度

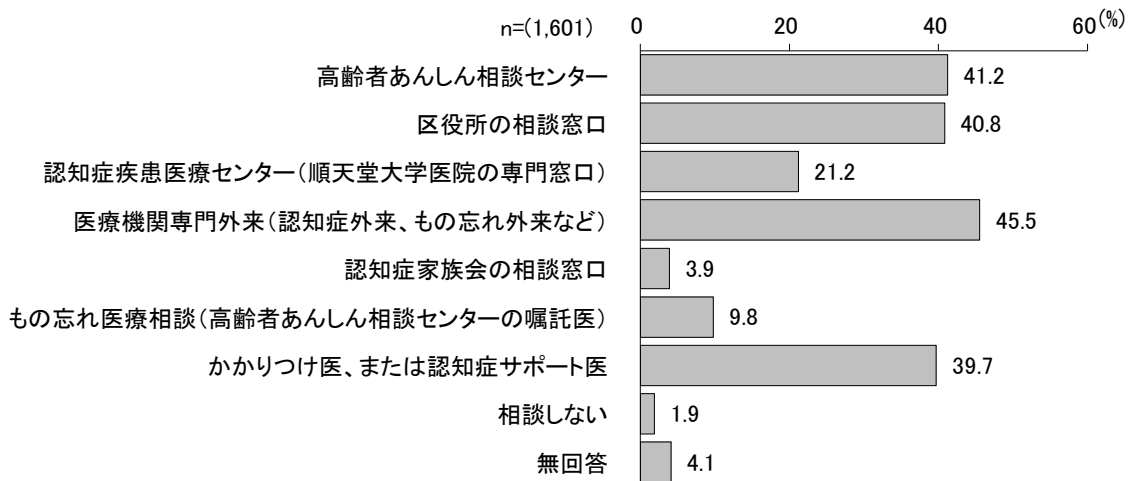
認知症に関する相談窓口を知っているかでは、「いいえ」が73.5%、「はい」が22.4%となっています。



問32 認知症相談窓口の利用意向

認知症に関する相談をする場合、どちらの相談窓口を利用するかでは、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が45.5%で最も高く、以下、「高齢者あんしん相談センター」が41.2%、「区役所の相談窓口」が40.8%、「かかりつけ医、または認知症サポート医」が39.7%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別でみると、男性は、「区役所の相談窓口」、女性は、「医療機関専門外来（認知症外来、もの忘れ外来など）」が最も高く、「区役所の相談窓口」以外は、男性を上回っています。

年齢別でみると、「区役所の相談窓口」は、低年齢層ほど高くなっています。

圏域別でみると、駒込地区では、「認知症疾患医療センター（順天堂大学医院の専門窓口）」が比較的lowく、「高齢者あんしん相談センター」が高くなっています。

介護経験の有無別でみると、現在、介護をしている層で、「高齢者あんしん相談センター」や「かかりつけ医、または認知症サポート医」が高くなっています。

【認知症相談窓口の利用意向／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

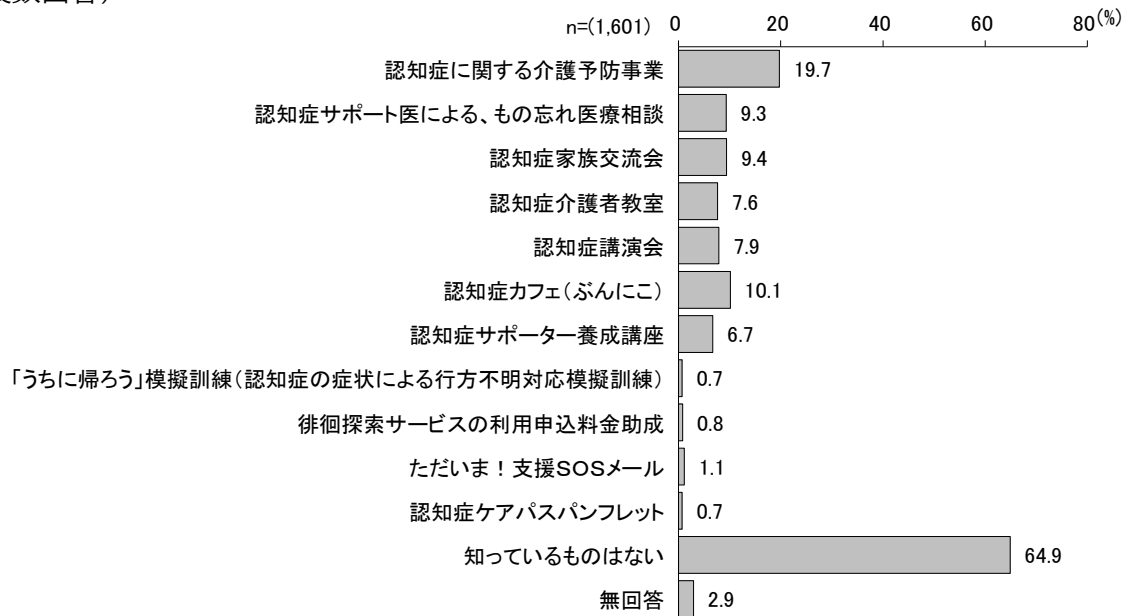
(%)

		n	高齢者あんしん相談センター	区役所の相談窓口	認知症疾患医療センター(順天堂大学医院の専門窓口)	医療機関専門外来(認知症外来、もの忘れ外来など)	認知症家族会の相談窓口	もの忘れ医療相談(高齢者あんしん相談センターの囑託医)	かかりつけ医、または認知症サポート医	相談しない	無回答
全体		1,601	41.2	40.8	21.2	45.5	3.9	9.8	39.7	1.9	4.1
性別	男性	658	39.7	42.4	19.0	39.2	2.4	5.8	37.2	2.3	4.9
	女性	943	42.2	39.8	22.8	49.8	4.9	12.6	41.4	1.7	3.5
年齢別	50～54歳	565	41.1	45.5	21.2	45.5	3.7	9.4	36.3	2.1	4.1
	55～59歳	530	41.3	41.3	21.5	42.6	4.9	10.6	40.4	1.7	4.2
	60～64歳	485	41.4	35.5	21.2	49.1	2.5	9.7	43.9	2.1	3.3
圏域別	富坂地区	543	39.2	40.3	21.9	45.9	4.1	9.4	39.2	2.2	3.5
	大塚地区	357	41.2	40.3	21.0	45.7	4.5	11.2	36.7	1.4	3.9
	本富士地区	355	39.4	41.1	25.6	46.5	2.5	8.5	38.9	2.0	4.5
	駒込地区	346	46.0	41.9	15.9	43.6	4.3	10.4	44.2	2.0	4.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	52.2	37.2	15.9	40.6	5.3	11.6	48.8	2.4	2.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	43.4	38.8	21.3	45.1	3.3	11.3	45.1	1.3	4.0
	介護をしたことがない	942	38.4	43.1	22.5	47.0	3.8	9.0	36.3	2.2	2.9

問33 認知症に関する区の事業の認知度

認知症に関する区の事業の認知度では、「知っているものはない」が64.9%を占めています。一方、具体的な選択肢の中では、「認知症に関する介護予防事業」が19.7%で最も高く、以下、「認知症カフェ（ぶんにご）」が10.1%、「認知症家族交流会」が9.4%、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」が9.3%となっています。

(複数回答)



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別で見ると、知っているものの中では、男女とも「認知症に関する介護予防事業」が最も高くなっています。女性は、「ただいま！支援SOSメール」以外は男性よりも高く、特に、「認知症家族交流会」や「認知症カフェ（ぶんここ）」では、男性よりも約9ポイント上回っています。

年齢別及び圏域別で見ると、55～59歳は、「認知症サポート医による、もの忘れ医療相談」、「認知症家族交流会」、「認知症介護者教室」でやや高い傾向となっています。

介護経験の有無別で見ると、すべての事業で、介護をしたことがない層の認知度は、最も低くなっています。

【認知症に関する区の事業の認知度／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

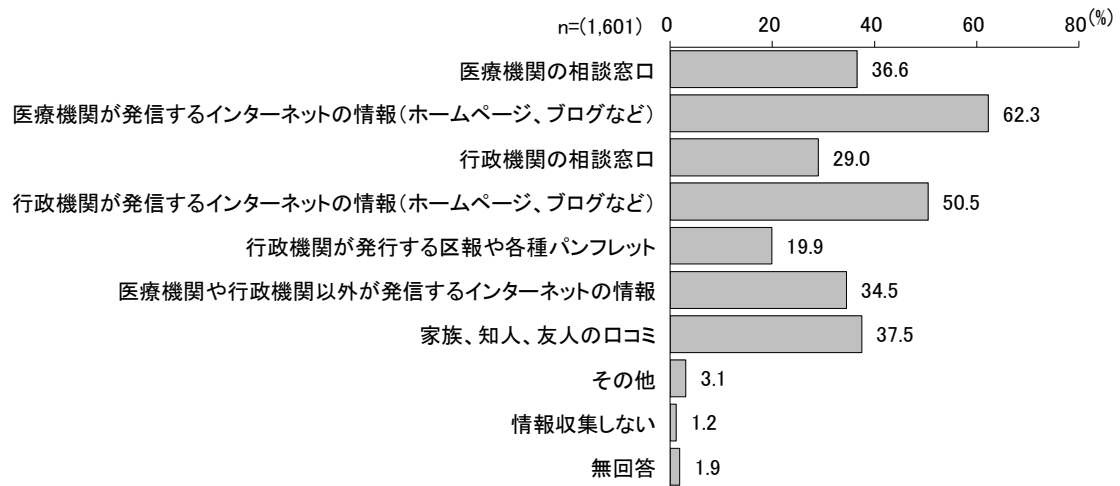
		n	認知症に関する介護予防事業	認知症サポート医による、もの忘れ医療相談	認知症家族交流会	認知症介護者教室	認知症講演会	認知症カフェ（ぶんここ）	認知症サポーター養成講座	「うちに帰ろう」模擬訓練（認知症の症状による行方不明対応模擬訓練）	徘徊探索サービスの利用申込料金助成	ただいま！支援SOSメール
全体		1,601	19.7	9.3	9.4	7.6	7.9	10.1	6.7	0.7	0.8	1.1
性別	男性	658	18.5	7.4	4.1	4.3	5.6	4.9	3.5	0.6	0.3	1.1
	女性	943	20.5	10.6	13.1	10.0	9.5	13.8	9.0	0.7	1.2	1.1
年齢別	50～54歳	565	18.6	8.3	6.9	5.3	6.7	10.3	6.9	0.5	0.7	1.6
	55～59歳	530	20.8	11.3	12.6	10.2	8.9	10.4	7.0	0.6	0.9	0.6
	60～64歳	485	20.4	8.2	9.1	7.8	8.5	9.7	6.4	0.8	0.6	0.8
圏域別	富坂地区	543	19.5	7.9	9.9	7.9	7.0	9.9	6.3	0.7	0.7	1.3
	大塚地区	357	20.2	10.9	7.6	6.2	7.3	9.2	5.3	0.8	0.8	1.1
	本富士地区	355	17.5	7.9	9.6	6.8	7.6	10.4	7.6	0.3	0.6	0.6
	駒込地区	346	21.7	11.3	10.4	9.5	10.4	11.0	8.1	0.9	1.2	1.2
介護経験の有無別	現在、介護をしている	207	28.0	12.6	18.8	13.0	15.9	15.5	11.1	1.0	1.0	2.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	24.1	12.8	15.3	12.0	11.3	15.0	10.5	0.8	1.0	1.5
	介護をしたことがない	942	16.2	7.0	4.9	4.8	4.9	6.8	4.4	0.6	0.6	0.6

		認知症ケアパスパンフレット	知っているものはない	無回答
全体		0.7	64.9	2.9
性別	男性	0.5	72.0	3.2
	女性	0.8	59.9	2.8
年齢別	50～54歳	0.7	67.3	3.4
	55～59歳	0.9	62.8	2.8
	60～64歳	0.4	64.7	1.6
圏域別	富坂地区	0.7	64.8	3.7
	大塚地区	0.3	66.1	3.1
	本富士地区	0.8	68.2	2.0
	駒込地区	0.9	60.4	2.6
介護経験の有無別	現在、介護をしている	1.9	52.7	1.4
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	0.8	54.4	2.5
	介護をしたことがない	0.4	73.1	2.0

問34 認知症に関する情報取得方法

認知症についての情報収集の方法では、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が62.3%で最も高く、以下、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が50.5%、「家族、知人、友人の口コミ」が37.5%、「医療機関の相談窓口」が36.6%となっています。

（複数回答）



第4章 50歳以上の現役世代調査

性別で見ると、男女とも「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」が最も高く、女性は、「家族、知人、友人の口コミ」が、男性よりも10ポイント近く上回っています。

年齢別で見ると、「医療機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「行政機関が発信するインターネットの情報（ホームページ、ブログなど）」、「医療機関や行政機関以外が発信するインターネットの情報」は、低年齢層ほど高く、一方、「行政機関が発信する区報や各種パンフレット」は、低年齢層ほど低くなっています。

圏域別及び介護経験の有無別では、特に目立った違いはありません。

【認知症に関する情報取得方法／性別、年齢別、圏域別、介護経験の有無別】

		n	医療機関 の相談窓 口	医療機関 が発信す るインター ネットの情 報(ホーム ページ、ブ ログなど)	行政機関 の相談窓 口	行政機関 が発信す るインター ネットの情 報(ホーム ページ、ブ ログなど)	行政機関 が発信す る区報や 各種パン フレット	医療機関 や行政機 関以外が 発信する インター ネットの情 報	家族、知 人、友人 の口コミ	その他	情報収集 しない	無回答
全 体		1,601	36.6	62.3	29.0	50.5	19.9	34.5	37.5	3.1	1.2	1.9
性別	男性	658	37.4	60.8	28.7	50.2	16.6	33.3	31.8	2.9	1.8	2.3
	女性	943	36.1	63.3	29.2	50.7	22.2	35.3	41.5	3.2	0.7	1.6
年齢別	50～54歳	565	36.6	65.8	28.3	54.2	16.1	39.8	40.0	2.7	1.1	2.1
	55～59歳	530	36.4	61.5	29.1	50.4	20.0	32.8	36.2	4.0	1.5	1.7
	60～64歳	485	37.1	59.8	30.1	47.6	24.1	30.9	36.7	2.7	0.6	1.0
圏域別	富坂地区	543	35.7	59.7	29.8	54.0	20.1	35.5	35.5	3.1	0.9	1.8
	大塚地区	357	40.3	63.6	31.7	45.1	17.6	30.3	38.4	2.0	0.6	2.2
	本富士地区	355	36.9	65.4	27.0	50.7	20.8	33.8	34.6	4.2	2.3	1.4
	駒込地区	346	33.8	61.8	26.9	50.3	20.8	37.9	42.5	2.9	1.2	2.0
介護経験 の有無別	現在、介護をしている	207	32.9	61.4	28.5	47.8	24.6	39.1	40.1	5.3	1.0	-
	過去に介護をしたことがあるが、今はしていない	399	38.6	56.4	31.3	45.1	23.3	31.8	39.8	3.8	0.8	1.0
	介護をしたことがない	942	37.0	65.9	28.2	53.8	17.8	35.5	36.7	2.4	1.5	1.3